

# 大阪歴史博物館年報

令和4年度



大阪歴史博物館

令和5年10月

## 目 次

はじめに .....	1
展観事業 .....	1
資料収集 .....	5
資料のデータ整備・特別観覧・貸出し .....	1 1
教育普及事業 .....	1 2
学校連携事業 .....	1 3
ボランティア関連事業 .....	1 3
連携事業・大阪歴史博物館友の会との連携 .....	1 3
文化庁補助金による取り組み .....	1 4
展示改修計画 .....	1 5
CRS プロジェクト .....	1 5
新型コロナウイルス感染症対策 .....	1 5
文科省委託事業「文教施設による多様な PPP/PFI の先導的開発事業」…	1 5
広報宣伝活動 .....	1 6
刊行物 .....	1 6
調査研究活動 .....	1 6
受嘱・派遣・視察 .....	2 2
令和 4 年度入場者数 .....	2 2
利用規定 .....	2 3
運営組織 .....	2 4

## はじめに

令和4年度は新型コロナウイルス感染症が広まってから3年目にあたった。昨年までと違い休館という大きな影響を被ることはなかったものの、感染症が反復したために一部活動は自粛が継続し、入館者数も回復の兆しは見られたが十分ではなかった。

そうしたなかで積極的に取り組んだのは事業実施に際しターゲットを明確化する取り組みで、特に特別展・特別企画展においてはターゲット層の獲得に向けて戦略的活動をおこなった。このうち「和菓子、いとおかし—大阪と菓子のこれまでと今—」展ではターゲットを保護者と子どもに設定し、当館がハブとなって和菓子の老舗と市立小学校を結び、和菓子を素材とした総合学習の実現にこぎつけた。「文明開化のやきもの印版手」展では身近な「骨董」を日々の暮らしに活かす提案展示を組み込み、若い世代の関心を惹起することができた。またそのほかの展覧会でもSNSの活用による展示魅力の発信に努めた。

昨年度以来取り組んできた展示改修計画についてはいくつかのテーマに絞って進めることになった。ひとつは特別展示室のケース改修で、こちらは令和5年度に工事が実施されるはこびである。もうひとつが令和7年の大阪・関西万博の開催に合わせた利用者増・魅力アップの実現に向けた事業の活性化である。こちらにかかわっては昨年度来の外部事業者との協働を拡大させたほか、文科省委託事業「文教施設による多様なPPP/PFIの先導的開発事業」の補助金を受け、収集・研究・展示事業以外で今後民間事業者とどのように連携できるのかその枠組みを検討した。その具体化が令和5年度以降の課題となる。

当館に隣接する難波宮跡内裏地区の整備の方向性も明らかになった。難波宮のサイトミュージアムとしての機能を有する当館として令和7年春の整備終了に向け事業者と連携を図るとともに、今後注目が集まる難波宮・大阪城一帯の活性化に積極的に参画していきたい。

大阪歴史博物館 館長 大澤研一

### 展観事業

#### 常設展示

##### ● 10階：古代フロア

「難波宮の時代」ハイライトコースでは、奈良時代の後期難波宮大極殿を実寸大で再現するとともに、宮廷儀礼の再現映像を上映している。また、展望窓から実際の難波宮跡公園を展望することができる。実物資料展示では、国の重要文化財に指定されている5世紀の船形埴輪や難波宮跡出土の遺物を展示している。

##### ● 9階：中世近世フロア

「大坂本願寺の時代」では、中世大坂の町の様子を大坂本願寺御影堂や町並みの復元模型、実物資料などから紹介している。「天下の台所の時代」ハイライトコースでは、江戸時代の大坂の景観を、中之島の蔵屋敷や船場の町並み、長堀の住友銅吹所、道頓堀の角の芝居といった復元模型や、壁面のグラフィックにより紹介している。実物資料展示では、大坂の町・産業・芸能・学問などに関する資料を紹介している。

##### ● 8階：「歴史を掘る」フロア・特集展示室

「歴史を掘る」フロアでは発掘現場の再現を行い、視覚表現を多用したパネルやパズルなど、考古学について体験的に学べる場を提供している。特集展示室では、館蔵品のコレクション展示や大阪に関するテーマ展示などのミニ企画展を、2ヵ月程度の期間で実施している。

##### ● 7階：近代現代フロア

「大大阪の時代」ハイライトコースでは、近代都市・大阪の諸様相を原寸大で再現した公設市場・町工場・「心ぶら」などから紹介している。実物資料展示では、政治・経済・くらし・文化に関するさまざまな資料を多方面から紹介している。

##### ● 難波宮跡 遺跡展示

博物館・NHK大阪放送会館の敷地には、前期難波宮の大規模な倉庫群（内裏西方官衙）があった。建物の地下には、発掘調査で明らかになった倉庫や塀などの遺構が保存されている。また博物館の敷地南側は遺跡公園として整備されており、発掘調査で見つかった古墳時代の大型倉庫群16棟のうち1棟が復元展示されている。

##### ● タイムカプセル EXPO'70

昭和45年（1970）日本万国博覧会が開催された際、毎日新聞社と松下電器産業（現パナソニック）により、当時の生活・文化を代表する2,098点の品々を収納したタイムカプセルを、大阪城天守閣前に埋設する事業が実施された。現地には2基が埋設されているが、当博物館の1階北東のエスカレーター奥に、同型品を展示している。

## 常設展示更新の状況

10・9・7階常設展示および1階エントランスにおいて、35件の展示替えを行った。各階を縦断するテーマ展示は、「世界と大阪 ―モノから振り返る関係史―」（令和4年10月26日～12月5日）と「れきはくで探そう！～動物編」（令和5年2月15日～3月21日）を開催した。

階	コーナー	内容	期間	テーマ
10	特設コーナー	弥生・古墳時代の刀剣関係資料	4月6日～7月11日	
10	特設コーナー	長原遺跡から出土した弥生時代中期の鑄造に用いた道具	7月13日～10月3日	
10	特設コーナー	コレクションの輝き 朝鮮半島の古瓦	10月5日～1月9日	世界と大阪
10	特設コーナー	～世界遺産になった縄文遺跡～ 北海道・北黄金貝塚の採集資料	1月11日～	れきはくで探そう！～動物編
10	難波京の風景	貴重な資源 馬の頭蓋骨	2月15日～3月21日	れきはくで探そう！～動物編
10	難波宮を掘る	大極殿階段跡の発見（写真パネル）	6月8日～9月11日	
10	難波宮を掘る	積み重なった瓦の発見（写真パネル）	9月11日～12月12日	
10	難波宮を掘る	複廊と門、小石敷きの発見（写真パネル）	12月21日～3月13日	
10	難波宮を掘る	内裏西端の発見（写真パネル）	3月19日～	
9	天下一の都市	かわいらしいイヌたち 犬型土製品	2月15日～3月21日	れきはくで探そう！～動物編
9	天下の台所	小大丸にみる大坂の呉服商	8月3日～10月3日	
9	天下の台所	商家の奉公人	10月5日～11月28日	
9	まちの生活	幕末の大坂のよそおい	5月18日～6月27日	
9	まちの生活	引札	7月5日～9月19日	
9	まちの生活	九相詩絵巻	9月21日～10月24日	
9	まちの生活	大阪に運ばれた世界の陶磁器	10月26日～1月30日	世界と大阪
9	まちの生活	大阪随一の粋人・平瀬露香遺愛品	2月1日～3月27日	
9	町人の文化	神の姿、人の姿	10月5日～12月19日	
8	特集展示	もうかりますように 双鹿図	2月15日～3月21日	れきはくで探そう！～動物編
7	近代都市の建設	白色タイル	7月13日～9月19日	
7	近代都市の建設	住宅改造博覧会	9月21日～11月28日	
7	近代都市の建設	大阪大国技館と双葉山	11月30日～	
7	産業の展開	和菓子に外国人スター 焼き印押止簿	10月26日～12月5日	世界と大阪
7	地域のなかの戦争	アメリカが落とした爆弾 焼夷弾	10月26日～12月5日	世界と大阪
7	美術工芸の諸相	大阪の現代刀工	10月5日～12月5日	
7	美術工芸の諸相	藪明山と大阪薩摩	12月21日～	
7	上方芸能の展開	初代鴈治郎と今中富之助	7月16日～9月30日	
7	都市の民間信仰	勝間いか 蛸	1月10日～3月31日	
7	都市の民間信仰	住吉土人形 初辰猫、組み猿	2月15日～3月21日	れきはくで探そう！～動物編
7	引札と広告	海運業等の引札	6月29日～12月19日	
7	引札と広告	新年の引札	12月21日～3月21日	
7	引札と広告	諸商の引札	3月23日～	
7	鴻池家の生活用具	鴻池家の火鉢類	12月21日～3月13日	
7	映像コーナー	守れ我等の大空－昭和9年の防空演習－	7月6日～12月19日	
7	映像コーナー	高津宮の初詣	12月21日～3月27日	
1	発掘成果ポスター展	大阪市の遺跡 江戸時代の土採り穴	4月5日～8月8日	
1	発掘成果ポスター展	発掘された庶民の墓 梅田墓	8月10日～12月19日	
1	ポスター展	考古学の青	12月22日～	

## 特集展示

8階の特集展示室では、常設展の内容を掘り下げたものや季節に合わせた企画などを順次開催している。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示解説は実施しなかった。

### ●タイルとおおさか

#### －日本における「タイル」名称統一100周年－

会 期：令和4年4月20日～6月27日

出 品 数：55件

担 当：阿部文和

1922年（大正11）4月12日、東京・上野で全国タイル業者大会が開催され、それまで敷瓦や化粧煉瓦などさまざまな呼ばれていた名称が「タイル」へと統一される。この決定は単なる名称統一だけでなく、タイル生産の工業化と普及を促進させるための重大な決定であった。その頃の大阪でも、鉄筋コンクリート建築の広まりや市民の衛生意識の向上でタイルの需要が高まっており、オフィスビルや百貨店、学校、銭湯などの内外装材として利用される。

本展示では、「タイル」名称統一から100年を迎えるこの機会に、美章園温泉モザイクタイルや近鉄百貨店阿倍野店外装タイルなど、これまでご寄贈いただいた建築部材資料の中からタイルを中心に紹介した。

### ●戦争と福祉・ボランティア

#### －田中半治郎の遺品から－

会 期：令和4年6月29日～9月5日

出 品 数：約40点

担 当：飯田直樹

大阪歴史博物館は、陸軍歩兵第八聯隊入営中に日露戦争に従軍し、大正期には現在の民生委員に相当する方面委員をつとめた田中半治郎（1882～1930）の遺品を所蔵している。方面委員は、無給で生活困窮者の救済活動に従事するボランティアである。本展示では、田中の遺品にもとづいて、田中が人生のさまざまな局面で、何を思い、考え、行動したのか、について考えた。その結果、田中の人生にとって軍隊内で積み上げた経歴（軍歴）が大きな意味を持っていたことを確認した。さらに、方面委員としての田中の活動を理解する上で、日露戦争中の

戦争体験が重要であることを明らかにした。本展示では、解説リーフレットのPDFデータをホームページにて公開するとともに、展示場内でも二次元コードを用いて来館者がダウンロードできるようにした。

### ●新発見！なにわの考古学 2022

会 期：令和4年9月7日～11月14日  
出 品 数：524点  
担 当：岡本 健  
共 催：(一財)大阪市文化財協会

令和2年(2020)から3年(2021)度を中心に、一般財団法人 大阪市文化財協会・大阪市教育委員会が実施した大阪市内の遺跡発掘調査の中から、主な調査成果を出土遺物や写真パネルで紹介した。JR森ノ宮駅近くで見つかった弥生時代の木製農具や、中世の渡辺津推定地で出土した土器・陶磁器と瓦、久留米藩蔵屋敷跡で出土した九州産土瓶と土師器皿、梅田墓の蔵骨器などを展示した。また、関連行事として「大阪の歴史を掘る2022」講演会を9月11日に開催した。

### ●大阪近郊の農業—農具とわざの諸相—

会 期：令和4年11月16日～令和5年1月23日  
出 品 数：33件(44点)  
担 当：俵和馬

大阪の周辺地域ではイネやムギといった穀物はもとより、野菜や果実、綿花、花卉(草花)などの換金作物も生産された。これらは、平野や山間部、低湿地域など、その地域ごとの特性を踏まえ作られてきたものである。また、多種多様な作物生産の営みに呼応するように、農具や農業技術も高められていった。本展示では、農具や写真、地図などの関連資料から、近郊地で営まれたさまざまな農業について、その展開、農具の仕組みや職人の技、さまざまな環境に対応する農の知恵を紹介し、その歴史や変遷を考えた。

### ●銀行重役のコレクション—京・大坂の近世絵画を中心に—

会 期：令和5年1月25日～3月21日  
出 品 数：約20点  
担 当：岩佐伸一

日本を代表する商工業都市として、財閥や大企業の本拠地となった近代の大坂には日本美術の愛好者や収集家があった。大阪の山口財閥の山口吉郎兵衛もそのひとり、西田永助は重役として彼を支えた人物である。当館では、その西田家に伝来した絵画を収蔵しており、それらは江戸時代後期から明治時代にかけての大坂(阪)や京都で活躍した画家—森一鳳、森寛齋、西山芳園、西山完瑛、中島来章ら—の作品が多く、四季折々の自然景を描いた花鳥画が大半を占める。

西田家旧蔵品の絵画を通じて、当時の人々の絵画に対する好み、また優れた技量を持ちながらも、今では顧みられることが少ない画家について知っていただく機会となることを目指し、本展示を行った。

### ●新収品お披露目展—令和元年度から3年度まで—

会 期：令和5年3月23日～5月15日  
出 品 数：44件  
担 当：阿部文和

当館では開館以来、郷土大阪を中心とする地域の歴史と文化について広く紹介し、理解を深めることを事業運営の基本方針としている。この基本方針に沿った資料の収集は博物館活動の根幹でもあり、当館では毎年、市民の皆様からご寄贈いただいた様々な資料を保管し、研究や展示等に活用を図っている。本展示では、令和元年度、

令和2年度、令和3年度に新たに館蔵品となった数多くのご寄贈品から未公開のものを中心に、44件の資料を紹介した。

主な展示資料は、渡邊家住宅照明器具(渡邊實氏寄贈)、芙蓉小禽図 長谷川玉峰筆(前田美希氏寄贈)、木彫根付「蝦蟇仙人」松田亮長作(渡邊正憲氏寄贈)など。

### 特別展

#### ●～浮世絵師たちが描く～

#### 絶景！滑稽！なにわ百景！

会 期：令和4年4月23日～6月5日

開館日数：39日  
入場者数：14,607人

出 品 数：234点  
図 録：A4版、59頁  
担 当：島崎未央、岡本 健、加藤晶子、船越幹央  
主 催：大阪歴史博物館

江戸時代には、版画、版本、絵画と、様々な媒体で名所が描かれ、大坂もその舞台のひとつであった。葛飾北斎は諸国名橋のひとつとして天満橋を取り上げ、歌川広重は堂島米市や雑喉場魚市の活況を描いた。また大坂では、名所を背景にした珍騒動を描く「滑稽」シリーズも人気を博した。本展示では、それらの名所絵から、江戸時代の大坂の人びとが、日々何を眺め、何に笑い、大坂の町を歩いたのかを読み解くこととした。

大坂には和歌に詠まれた古くからの名所も数多くあるが、江戸時代には、伝説や俗説をもとにした「俗名所」が誕生し、街角のおかしなものが名所として紹介され、商都・大坂の経済を支える水運の開発と併せて新たな観光名所が生み出された。近世、近代、そして現代を通して、名所が生み出されていくことの意味と、それを最大限に活用し楽しむ、人びとのたくましさに注目した。

#### ◇おもな展示資料

- 歌川芳梅・歌川芳豊『滑稽浪花名所』幕末期 大阪歴史博物館蔵
- 歌川国員・歌川芳雪・歌川芳瀧『浪花百景』幕末期 大阪歴史博物館蔵
- 葛飾北斎「諸国名橋奇覧 摂州天満橋」天保期(1830～1844) 大阪歴史博物館蔵
- 耳鳥齋「地獄図巻」寛政5年(1793) 大阪歴史博物館蔵

#### ◇関連イベント

- 講演会「近世大坂の名所を読み解く」5月8日

### 特別企画展

#### ●和菓子、いとおかし—大坂と菓子のこれまでと今—

会 期：令和4年7月16日～9月4日  
開館日数：44日

入場者数：18,954人  
出 品 数：103件(313点)  
担 当：俵和馬、杉本厚典、中野朋子、佐藤周平、澤井浩一

主 催：大阪歴史博物館  
特別協力：株式会社鶴屋八幡  
後 援：大阪府、公益財団法人大阪観光局、大阪商工会議所

豊臣秀吉は茶の湯を愛したことで知られ、大坂に喫茶の文化を根付かせた。茶道の発展とともに菓子の製作技法や種類は多様化し、江戸時代にはさまざまな菓子が食され、食の芸術品ともいえるお茶菓子も次々と生まれ



た。本展示では、江戸時代の大坂の菓子舗・虎屋伊織の伝統を継ぐ株式会社鶴屋八幡に特別協力をいただき、菓子のデザインを記録した菓子絵図帖、当時の菓子文化が垣間見える版本や絵画作品、職人が用いた菓子木型など、和菓子に関するさまざまな資料を紹介した。これらを通して、菓子の歴史や人々との交流、菓子のもつ美しさを見つめ、あらゆる世代に愛され続ける和菓子の文化を紐解いた。

本展は株式会社鶴屋八幡と連携した「和菓子、いとおかしプロジェクト」の一環であり、本展を中核として、大阪市立中大江小学校との連携授業も実施し、大阪の和菓子文化の紹介動画、プロジェクト概要のアーカイブ動画を制作・公開した。

◇おもな展示資料

- 『虎製帖』より難波津 江戸時代 株式会社鶴屋八幡蔵
- 幽客煎茶図 岡田米山人筆 文政18年(1818) 大阪歴史博物館蔵
- 白泥饗養紋涼炉 三国丹祐作 昭和時代 個人蔵
- 浪花自慢名物尽 駿河屋練羊羹 江戸時代 大阪府立中之島図書館蔵
- 宣旨 虎屋大和太掾藤原伊織 寛政元年(1789) 株式会社鶴屋八幡蔵
- 『浪華家都東』天保7年(1836) 大阪歴史博物館蔵
- 菓子木型 江戸～明治時代 株式会社鶴屋八幡蔵

◇関連イベント

- 対談「大阪と菓子のこれまでと今」7月31日
- 学芸員によるスライドトーク 7月23日、8月13日

●刀剣～古代の武といのり～

会 期：令和4年10月15日～12月4日  
 開館日数：44日  
 入場者数：26,725人  
 出品数：270点  
 担当：寺井 誠、李 陽浩、松本百合子  
 主催：大阪歴史博物館、古代歴史文化協議会



本展覧会は、古代歴史文化協議会の共同調査研究「古墳時代の刀剣類」を基礎にして、大阪の古墳時代の研究成果を加えて構成したものである。大阪府及び協議会参加の14県の弥生～古墳時代の刀剣関係資料を一堂に展示することを通じて、日本列島のさまざまな地域の古墳文化を紹介し、ヤマト王権と地方の交流を示しながら、刀剣が有する歴史的・社会的意義を示した。

序章では、あたかも刀を抜いて、切りかかろうとしている武人埴輪が来館者を出迎え、古墳時代の刀剣が戦いに用いる武器であるとともに、権威や身分などを象徴する品物でもあったことを伝えた。また、鎌倉時代の日本刀と古墳時代の刀剣を並べて陳列し、日本刀の源流が古墳時代までさかのぼることを示した。第1～3章では、弥生時代から古墳時代後期までの刀剣文化を紹介し、古墳時代前期・中期の多量副葬によって権威を示す時代から、古墳時代後期の個人に伴う意匠の凝った刀剣に変遷することを示した。第4章では、刀装具を含む刀剣を生産した遺跡及び出土遺物を通じて、古墳時代の技術・生産力を示した。第5章では埴輪や祭祀遺物の展示を通じて、儀礼に関わる資料から当時の精神性について示した。そして、終章では飛鳥・奈良時代に受け継がれた刀剣が、軍事を象徴する器物として継承される姿を示した。

展示の最後には、14県各地域の紹介コーナーをつくり、行ってみたいくなるような地域の魅力を発信した。

◇おもな展示資料

- 埼玉県鴻巣市生出塚埴輪窯跡出土の武人埴輪 古墳時代後期(6世紀) 鴻巣市教育委員会蔵 国指定重要文化財
- 宮崎県小林市大萩14号地下式横穴墓出土の研磨刀剣 古墳時代中期(5世紀) 宮崎県立西都原考古博物館蔵
- 奈良県桜井市メスリ山古墳出土の鉄ヤリ 古墳時代前期(4世紀) 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵 国指定重要文化財
- 大阪府高槻市今城塚古墳出土の大刀形埴輪 古墳時代後期(6世紀) 高槻市蔵

◇関連イベント

- 特別企画展関連シンポジウム『刀剣が語る巨大古墳の時代』(第6回古代歴史文化講演会)10月30日
- 連続講座10月22・23日、11月12日・13日

●一橋本コレクション受贈記念ー 文明開化のやきもの 印版手

会 期：令和5年1月21日～3月21日

開館日数：52日間

入場者数：26,950名

出品数：280件317点

担当：中野朋子、谷口正樹、羽室有加里、谷口なつき、豆谷浩之

主催：大阪歴史博物館



本展は、明治時代から昭和初期にかけて全国各地で大量生産された日常使いの器である「印版手(※)」のコレクターとして知られる橋本忠之氏が体系的、網羅的に収集した印版手作品1,129点を平成29年(2017)度に寄贈されたことを記念したもので、コレクションから選りすぐりの260点を選定し、関連作品・特別公開資料と併せて317点で構成した。作品選定にあたっては印版手の持つ歴史的、多様性や技法を知り、観覧者がその世界観により身近に親しめるように留意し、テーマ毎に展示をおこなった。

また、大阪におけるやきもの産業のあり方を提示する目的で、令和3年(2021)度に寄贈を受けた陶磁器業界紙『陶業時報』を特別公開した。同紙は大阪で陶磁器関連業者が集中していた「瀬戸物町」(現・大阪市西区)の老舗陶器商・つば善商店店主・御崎善右衛門が明治末期から昭和戦中期にかけて発行したもので、当時の大阪における陶磁器流通の実態を明らかにするために重要な資料である。

なお、新たな試みとして、印版手に馴染みのない世代に向けて印版手を暮らしに取り入れる提案展示『HELLO MY INBANANTE♡』ならびに『青の小部屋』をスタイリスト・東ゆうな氏の監修で行い、来館者の好評を博した。本展示に連動して、展覧会単独としては初めてInstagramの運用を行った。

さらに、来館者サービスの向上のため、会期中に館内特設会場にて13回の印版手販売を実施した。

◇おもな展示作品

- オランダ商館員図大皿 明治時代中期～後期 銅版絵付 橋本忠之氏寄贈
- 文明開化文字図皿 明治時代前期～中期 摺絵 橋本忠之氏寄贈
- 雪だるまに仔犬図小皿 明治時代後期 銅版絵付 橋本忠之氏寄贈
- 猫じゃらし図隅入角大皿 明治時代中期 摺絵 橋本忠之氏寄贈
- 『陶業時報』創刊号 明治39年(1906) 株式会社つば善商店寄贈

#### ◇関連行事

講演会「印判手食器の鑑賞入門 ー輸入から国産へ」  
岡 泰正氏（神戸市立小磯記念美術館 館長）2月11日  
担当学芸員によるスライドトーク 1月28日、3月4日  
一日まるごと印版手ツアー「四天王寺骨董市で掘り出し物探し!？」大澤研一、印版手展担当者 2月22日  
※本展における「印ばん手」の表記は、寄贈者である橋本氏の収集および研究活動に敬意を表し「印版手」としている。

### 資料収集

令和4年度は、寄贈によって新たに746件1,217点の館蔵品を加えた。内容は一覧の通りである。これらの収集資料にあたっては、外部に依頼した委員による資料収集委員会を開催して収集審査を行った。

#### ●令和4年度の収蔵資料点数

部門	寄贈	購入	移管	合計
歴史	912	0	0	912
美術	22	0	0	22
考古	134	0	0	134
民俗	78	0	0	78
芸能	0	0	0	0
建築	71	0	0	71
	1,217	0	0	1,217

#### ●館蔵品総点数（令和5年3月31日現在）

部門	寄贈	購入	移管	合計
歴史	83,292	9,143	86	92,521
美術	9,256	1,648	3	10,907
考古	7,234	4,765	6,178	18,177
民俗	4,917	2,485	2	7,404
芸能	11,524	1,029	3	12,556
建築	6,294	0	27	6,321
	122,517	19,070	6,299	147,886

#### 燻蒸

博物館の新規受入資料に対する各種害虫及びカビの駆除のために、燻蒸庫燻蒸を7月、10月、2月の計3回実施した。また、7月から8月に収蔵資料の保全のために、収蔵庫内にて生物（歩行・飛翔虫）の生息状況並びに空中浮遊・付着菌類の捕獲・採集調査と目視調査を実施した。

### 大阪歴史博物館資料収集方針

大阪は、日本の歴史のなかで、古代から現代にいたるまで重要な役割を果たしてきた都市である。難波宮の宮殿が営まれた古代、大坂本願寺の寺内町がつくられた中世、天下の台所として繁栄した近世、そして工業都市として発展した近代・現代と多様な展開をみせた。

大阪歴史博物館は、このような「都市おおさか」の歴史を紹介する博物館であり、郷土大阪を中心とする地域の歴史と文化について広く市民に紹介し、理解を深めることを事業運営の基本方針としている。こうした趣旨に沿った資料収集は、失われゆく資料の保存・研究の観点を含めて重要なものである。よって、以下の条項に基づき博物館資料を収集する。

#### 記

1. 難波宮とその研究史を理解する上で重要な資料を収集する。
2. 大阪の歴史と文化の発展を理解する上で重要な有形文化財、およびその理解を高める比較資料を収集する。
3. 大阪にとって芸術上価値の高い資料、およびその理解を高める比較資料を収集する。
4. 大阪に暮らす人々の生活の推移を理解するために必要な有形・無形文化財を収集する。
5. 大阪の景観、人物、無形文化財等の写真、映像などの資料を収集する。

#### ●新収蔵資料紹介

##### 山口銀行旧名古屋支店モザイクタイル壁片（加藤清正）

株式会社山口銀行寄贈

大阪出身の建築家・中村順平が山口銀行旧名古屋支店営業室に制作した7m×12mスケールのモザイク壁画「城を築く」のうち加藤清正部分の壁片。中村の制作する壁画はその土地の歴史を題材としたものが多く、本品は名古屋城天守閣の頂上へ揚げられる鯨を見守る加藤清正の後ろ姿が、濃紫や淡黄、灰色など不規則なガラス質テッセラの組み合わせによって造形されている。



# 新収館蔵資料一覧

## 寄贈

●歴史 (■：不明文字)

◇濱田ひろ子氏寄贈資料

天保十二丑年六月再御勅書写 (奉公人の駆け落ちにつき)	1点
[覚] (葉屋彦兵衛の年齢など覚書)	1点
一札之事 (天満白屋町町会所修復一件)	1点
借家請状之事 (天満白屋町解屋安兵衛、小豆島屋友七につき)	1点

◇塚本真美氏寄贈資料

安立相送り候書状写差出シ候 (大塩捕縛について)	1点
--------------------------	----

◇宗教法人称名寺 代表役員 出口智順氏寄贈資料

検地帳寄書抜/南曾根村北曾根村式ケ村分写	1点
御引高書上帳/万町村	1点
和泉国泉郡福瀬村検地帳	1点
泉郡肥子出作明細帖	1点
泉郡ノ内一ツ橋領大工仲触留 全 (泉郡一橋領知の大工の雇い方につき)	1点
土地名寄帳 和泉郡池田村	1点
被下田地反別高附帳 (泉郡豊中村七郎右衛門に支配を任せていた田地につき冥加銀 10 枚で下げ渡すこと)	1点
和泉国泉郡千原村田畑高反別位附帳	1点
高附控/豊中村/同宮 (泉州泉郡豊中村と小集落宮村の高と名前前の書付)	1点
和泉国泉郡虫取村郷村高帳 (虫取村の高、池、寺社など書き上げの写し)	1点
戊午村中小入用帳 万町村	1点
大風雨二付損所願書付控	1点
乍恐奉申上候 (洪水を受けて見分を願った田地六筆につき)	1点
万町村午年小入用帳	1点
伏屋新田百姓氏神諸事控 (伏屋新田の庄屋役と鎮守守について)	1点
坪井村万町村質地証文利銀滞覚	1点
村方一統他借銀改留帳 (泉郡浦田村の他借銀につき返済方法の確認)	1点
浦田村持高之内当子之五月讓渡田畑証文株々写	1点
普請内目論見帳	1点
御用先え再願書写 (洪水につき御見分願い)	1点
乍恐以書付を御願奉申上候 (信太山境内の小物成場引受け願い)	1点
乍恐口上之覚 (良如様御絵を頂戴するにあたり、村の道場坊主教忍が異論を唱えていることについて)	1点
口上 (牛博旁三右衛門の売買差止めにつき)	1点
中風呂年証文之事 (来る午年まで月 21 貫文で風呂の運営を引き受けることにつき)	1点
乍恐奉願上候 (文政 13 年、南王子村牛頭天皇拝所建て替え願いの写し)	1点
売買高取調書上帳 (酒、米、油など村構成員の売買書上)	1点
諸事御用筋控帳 (領主代替わりの巡見など)	1点
村格一條二付御用留	1点
艶牛馬御役所御声掛御拝借一件写 (草場争論の費用過多につき蔵元への拝借願い)	1点
差入申誤一札之事 (正月以来の博突につき)	1点
開墾嘆願書 (信太山の開墾願い)	1点
用水一件願書 (字拾八の井堰普請願い)	1点
南王子村古屋鋪畑反畝高名寄帳	1点
南王子村差上候書付之写 (天明 3 年からの王子村との争論につき)	1点
家屋敷出入一件 (塩穴村えた橋蔵女房もとの母はつの家屋敷相続につき)	1点
用水歎願書 (王子村出作地につき)	1点
南王子村入用帳	1点
西之年村中小入用帳	1点
亥之年村中小入用帳	1点
丑ノ年村中小入用帳	1点
巳年村中小入用帳	1点
未年村中小入用帳	1点
酉年村中小入用帳	1点
未年村中小入用帳	1点
酉年村中之小入用帳	1点
亥歳村中小入用帳	1点
酉年村中小入用帳	1点
社地跡引趣シ雑用帳	1点
牛頭天王御社修復願入用覚帳	1点
宮様御修覆借用銀元利勘定返済覚帳	1点
宮様御修覆入用一式控帳	1点
宮様御修覆入用一式控帳	1点
曲渕甲斐守様堺御奉行様御巡見御触書并御先触写帳	1点
人足帳	1点
御蔵米代銀先納取立帳	1点
村方取締二付牢屋掛諸払帳	1点
一橋御用 (御用につき呼び出し)	1点
乍恐書付以御願奉申上候 (娘しめと喜兵衛弟利八の内縁につき)	1点
[年貢免状] (丑年開発の高 66 石 2 斗 1 升年貢免除につき)	1点
覚 (村入用書き上げ雛形)	1点
一札 (年賦銀滞り分の返済につき)	1点
差上申御礼書一札 (茂八借用の餅米代容赦につき)	1点
乍恐以書付願上候 (長右衛門の清水飯敷の建て家差止め願い)	1点
[借用証文] (年貢銀差詰りにつき 360 匁の借用)	1点

打揚道薬法	1点
[借用証文] (返済の請合証文)	1点
覚 (おさな飯料代銀 300 眼の受取)	1点
覚 (検地帳三冊他の預かりにつき)	1点
預り申銀子之事	1点
南王子村村格一條二付御用留 (筆耕資料)	171点
[絵図] (用水争論につき)	1点
もろせ池普請絵図 (部分)	1点
請取申金子之事 (安政地震の御普請のための永上納金につき)	1点
乍恐奉申上候 (川欠永荒引の字拾五につき)	1点
御検見二付稲作仕付取締書	1点
[封筒] (田畑下見帳、同毛揃帳、早稲刈上仕訳帳)	1点
当亥秋田島毛揃帳	1点
亥年毛揃	1点
亥年奥寄	1点
乍恐奉願上候 (早稲を刈り取りたく)	1点
覚 (風損引方分を毛見入用にあて、残りは夫錢にあてること)	1点
覚 (もろせ池ほかに水を溜めないこと)	1点
[記] (改印料、手入料の書き上げ)	1点
[記] (浦田村以下泉郡、南郡村々の高と掛銀書き上げ)	1点
覚 (御用銀にあてた借用銀の返済につき)	1点
覚 (村々諸秤書き上げ)	1点
一札 (秤改めにつき。雛形)	1点
乍恐御訴訟 (宇多大津村仁右衛門娘すわ不奉公につき、堺奉行に訴訟の届出)	1点
乍恐御届奉申上候 (長七家出につき)	1点
乍恐御訴訟奉申上候 (小作人池浦村亥之助の未進につき、堺奉行に訴訟の届出)	1点
覚 (家屋敷一軒の入用銀につき)	1点
乍恐書付を以奉願申上候 (鉄砲改め)	1点
乍恐書付を以奉申上候 (鉄砲改め)	1点
[書上げ] (領内の威鉄砲預かり挺数につき)	1点
和泉国泉郡千原村卯御年貢可納割付之事	1点
卯年泉州虫取村御年貢可納割附之事	1点
乍恐以書付奉申上候 (溜池掘浚えにつき)	1点
乍恐以書付奉申上候 (溜池掘浚えにつき)	1点
乍恐以書付御願奉申上候 (御普請所字廿八川池伏樋普請のため見分願い)	1点
乍恐以書付奉申上候 (字十三池掘浚えにつき)	1点
乍恐以書付奉願上候 (用水のための潰れ地年貢を補填したく、拝借願い)	1点
乍恐御断奉申上候 (諸瀬池十三池用水込妨出入りにつき、決着の日延べ願い)	1点
乍恐奉願上候 (用水改善のため字廿七に掘割したく、見分願い)	1点
済証文之事 (虫取村長井村の諸瀬池用水争論につき)	1点
乍恐書付ヲ以奉願上候 (下条大津村の用水補支払いにつき)	1点
乍恐以書付奉願上候 (廿八川池伏樋目論見書)	1点
乍恐以書付奉願上候 (廿八川池普請所の見分願い)	1点
酉年奉願御普請所目録	1点
乍恐以書付奉申上候 (昨年普請の廿八川池伏樋完成につき)	1点
乍恐以書付奉願上候 (用水溜池の養鯉存続願い)	1点
乍恐御届奉申上候 (池浦村亥之助の虫取村嘉平太への小作未進につき、済切銀 60 目で解決のこと)	1点
乍恐口上 (長井村が池浦村穴師池用水新溝につき訴訟を起こそうとしていることにつき)	1点
[書状] (立会の諸瀬池の池床差配と川補の支払いにつき)	1点
乍恐奉願上候 (廿八川池御普請所の入用金不足につき)	1点
乍恐以書付奉願申上候 (溜池字十三池、諸瀬池の掘浚え御普請願い)	1点
諸瀬池水込門樋入用書奉差上候	1点
覚 (諸瀬池水込門堰代につき)	1点
乍恐以添書奉願上候 (昨日願い上げた諸瀬池用水掛溝の立会村につき)	1点
亥御年貢皆済目録	1点
戌御年貢皆済目録	1点
申御年貢皆済目録	1点
申御年貢皆済目録	1点
酉御年貢皆済目録	1点
辰御年貢皆済目録	1点
午御年貢皆済目録	1点
未御年貢皆済目録	1点
申御年貢皆済目録	1点
酉御年貢皆済目録	1点
戌御年貢皆済目録	1点
亥御年貢皆済目録	1点
子御年貢皆済目録	1点
丑御年貢皆済目録	1点
寅御年貢皆済目録	1点
卯御年貢皆済目録	1点
辰御年貢皆済目録	1点
巳御年貢皆済目録	1点
午御年貢皆済目録	1点
未御年貢皆済目録	1点
申御年貢皆済目録	1点
酉御年貢皆済目録	1点
戌御年貢皆済目録	1点
亥御年貢皆済目録	1点
寅御年貢皆済目録	1点



卯御年貢皆済目録	1点	〔記〕(受取の控え)	1点
辰御年貢皆済目録	1点	〔記〕(銀高と名前の書上げ)	1点
巳御年貢皆済目録	1点	大川国役銀高一石ニ付三分二厘(割付)	1点
午御年貢皆済目録	1点	去卯十二月借用取立帳	1点
未御年貢皆済目録	1点	去卯十一月借用取立帳	1点
未年免定之事	1点	〔記〕(借用・郷借の書上げ)	1点
丑御年貢皆済目録	1点	七月支配	2点
寅御年貢皆済目録	1点	土俵集	1点
戌年免定之事	1点	急■御見分切所御普請入用取替控	1点
申年免定之事	1点	御蔵元銀貸付帳 長兵衛方	1点
酉年免定之事	1点	子之年中村小入用帳	1点
戌年免定之事	1点	田拾帳	1点
亥年免定之事	1点	差引目録帳	1点
子年免定之事	1点	卯七月より同十二月迄泉州郡中割帳	1点
丑年免定之事	1点	年貢拝借用銀取立帳并御普請銀上納	1点
未租税可納割附之事	1点	寅十二月貸付取立帳	1点
去未租税皆済目録	1点	差引帳	1点
去午租税皆済目録	1点	御年貢貸付覚帳 下方	1点
巳御年貢皆済目録	1点	はらいわけちよ	1点
辰御年貢皆済目録	1点	檀越惣人別筆記	1点
未年免定之事	1点	金銀請取帳	1点
午年村中小入用帳	1点	質物奥印控帳	1点
未年村中小入用帳	1点	御請書(小栗街道潰地につき残地請書)	1点
申年村方小入用帳	1点	当村万蔵引越一件書入帳	1点
酉年村中小入用帳	1点	久米田懸り祭治一件	1点
申年村中小入用帳	1点	分籍御願	1点
酉年村中小入用帳	1点	御願書(産土神勇のため神踊願い)	1点
生田畑耕地反別字名帳	1点	離縁復籍御願	1点
御巡見御取締定式入用取立帳	1点	帰籍御願	1点
丑御年貢春納決算并御巡見入用并納追打歩■掛取立帳	1点	帰籍御願	1点
卯御年貢金過不足差引再勘定控帳	1点	離縁復籍御願	1点
卯年分御年貢上納辻村方立会勘定帳	1点	帰籍御願	1点
御國訳郷掛米納追打取立帳	1点	復籍御願	1点
巳七月郷掛并米納方追打郷同掛取立帳	1点	不受金興行願(相撲、芸者)	1点
〔取立帳〕(御囲粉米のうち小前貸付分)	1点	復籍御願	1点
泉州分御囲之内臨時御廻米一村限割賦帳	1点	御届書(稻荷神社例祭につき)	1点
御用掛御取締郷掛取立帳	1点	〔図〕(泉郡小田村稻荷神社上地)	1点
卯御年貢皆済目録	1点	御願書(稻荷神社拝所破損)	1点
去ル三月肥手御拝借ニ付返納金村々請取帳	1点	御届書(干ばつにつき井の堀立願い)	1点
巳正月より同十二月迄支配勘定帳	1点	帰籍御願	1点
亥正月より同十二月迄支配帳	1点	離縁復籍御願	1点
施米渡貸日記	1点	畑屋敷上地売渡証文之事(八坂神社上地)	1点
子正月より同十二月迄支配并御検見入用帳	1点	地租等級収獲見込書上帳	1点
卯御年貢免割帳	1点	御届書(稻荷神社例祭につき)	1点
亥御年貢免割〔ヤブレ〕	1点	御届書(稻荷神社例祭につき)	1点
卯御年貢免割帳	1点	地券願書	1点
未正月より同十二月迄支配勘定帳	1点	証(金42円)	1点
午正月より同十二月迄支配勘定帳	1点	御引合(村境の字松尾川辺芝地につき)	1点
酉御年貢御役銀取立帳	1点	〔返答書〕(当村字緑田向敷地と当村境界につき、返答は田所太郎帰宅までお待ちください)	1点
亥御年貢諸役〔ヤブレ〕	1点	〔記〕(字祝井堰より争論するところの多治米村車井につき)	1点
寅御年貢諸役取立帳	3点	〔絵図〕(松尾川筋字大廻り田地)	1点
未御年貢諸役取立帳	1点	〔絵図〕(松尾川筋字大廻り田地)	1点
去御年貢銀拾五匁延納拝借差引残取立帳	1点	申述書(松尾川筋大廻りの堤防切り崩れにつき)	1点
未御年貢願延納春納割合帳	1点	用水引方違約之訴状(字寺田井用水から寺門池へ用水差し遣わすにつき)	1点
当卯春御普請目論見仕様帳	1点	養水新規引漑差止ノ訴状	1点
御普請所書上帳	1点	〔記〕(横田太郎平⑨他24名連印)	1点
御普請所目論見帳	1点	〔記〕(字祝井堰より争論するところの多治米村車井につき)	1点
〔御普請所書上帳〕	1点	〔包紙〕「尾井一件 下書」(裏面に松尾川筋井堰の図あり)	1点
覚(普請完了につき扶持米下付願い)	1点	和談済候事	1点
乍恐奉願上候(字廿八川池につき)	1点	再御引合(字寺田井堰過水を箕形村字大廻りに新規融通につき)	1点
〔御普請目論見仕様帳〕	1点	申述書(字寺田井堰過水を箕形村字大廻りに新規融通につき)	1点
字廿七溝路高反別仕訳帳	1点	再御引合(字寺田井堰過水を箕形村字大廻りに新規融通につき)	1点
郷積銀当村分株付不足銀取立帳	1点	去午租税皆済目録	1点
郷積金当村分不足銀株付取立帳	1点	巳御年貢皆済目録	1点
当丑田畑起返高反別小前帳	1点	辰御年貢皆済目録	1点
〔綴〕(郷中割銀等受取)	1点	寅御年貢皆済目録	1点
御上納銀勘定通	1点	丑御年貢皆済目録	1点
御上納銀勘定通	1点	亥御年貢皆済目録	1点
一札之事(嘉永7年質入れの田地質流れにつき)	1点	戌御年貢皆済目録	1点
質物差入借用銀申証文之事	1点	酉御年貢皆済目録	1点
万出入覚帳(覚次郎方請払之事)	1点	申御年貢皆済目録	1点
未御年貢銀請取帳	1点	午御年貢皆済目録	1点
郷積銀当村分不足株付銀取立帳	1点	巳御年貢皆済目録	1点
小前買米帳并過米差引	1点	辰御年貢皆済目録	1点
去寅年社倉初人別出穀分取立帳	1点	卯御年貢皆済目録	1点
当巳三拾三ヶ村割帳社倉御見分入用割帳	1点	未御年貢皆済目録	1点
村用覚日記	1点	寅御年貢皆済目録	1点
寅之年中村小入用帳	1点	丑御年貢皆済目録	1点
御見分請取書帳	1点	子御年貢皆済目録	1点
〔記〕(名前書上げ)	1点	明治八年仮割賦 泉州泉郡小田村	1点

卯年免定之事	1点	記(村養祠常吉飯料金80銭7厘の受取)	1点
巳年免定之事	1点	記(工数と代金書き上げ)	1点
未年免定之事	1点	[記](小田村12月分地価掛、戸掛)	1点
酉年免定之事	1点	証(イス4四代1円の受取)	1点
子年免定之事	1点	記(明治6年証印税残金の受取)	1点
丑年免定之事	1点	記(新築普請金残金9円の受取)	1点
寅年免定之事	1点	記(御膳料、牛王料の受取)	1点
卯年免定之事	1点		
辰年免定之事	1点	◇古川東子氏寄贈資料	
巳年免定之事	1点	普通選挙有権者調査従事につき感謝状	1点
午租税可納割附之事	1点	大阪市青年団委員囑託状	1点
未租税可納割附之事	1点	阪神防空演習尽瘁につき感謝状	1点
明治七年仮免状	1点	桃園衛生組合評議員当選通知書	1点
明治七年地租金請取通 五番	1点	大阪軍人会館建設に対し金品寄付につき謝状	1点
亥租税金請取通	1点	桃園青年団評議員任務満了につき感謝状	1点
地租金受取通 八	1点	桃園分会への金品寄付につき謝状	1点
当申租税上納割賦帳	1点	洋銀青銅製造法並びに電鑄製造法講習会修了証書	1点
明治五壬申租税皆済帳	1点	大阪鍍金同業組合発展尽瘁につき感謝状	1点
明治六年租税上納割賦帳	1点	大阪自転車商組合役員として尽瘁につき感謝状	1点
明治六年租税皆済帳	1点	衛生組合常務評議員としての功勞につき感謝状	1点
明治七年租税上納割賦帳	1点	国勢調査員として熱誠努力につき感謝状	1点
明治七年租税皆済帳	1点	高津宮屋根替並びに営繕工事費寄付につき感謝状	1点
口代(菜種代銀一件につき)	1点	桃園衛生組合役員総選挙選挙委員囑託書	1点
乍憚口上(菜種代を早く渡すことにつき)	1点	桃園衛生組合評議員当選通知書	1点
急度申上候(先日お願いした菜種の件について)	1点	桃園衛生組合常務評議員当選通知書	1点
覚(十一月渡)	1点	桃園衛生組合評議員当選通知書	1点
覚(菜種の代銀)	1点	桃園衛生組合常務評議員当選通知書	1点
口代(千原の人がお帰り次第ご連絡ください。目録書きの品をお願いします)	1点	衛生組合役員尽瘁につき感謝状	1点
[書状](武右衛門殿より銀子の借用ができなかった旨ほか)	1点	桃園第一校教育後援会役員在任中の功勞につき感謝状	1点
覚(種過上銀289匁1歩8厘の受取)	1点	第一回国勢調査記念章之証	1点
記(威一本馬1匹代金4円50銭の受取)	1点	大阪市大札記念事業費寄付につき感謝状	1点
[荷札](大尾三本)	1点	国勢調査員として熱誠につき感謝状	1点
[書状](取締役への祝儀等断り)	1点	桃園幼稚園愛護会への金品寄付につき感謝状	1点
[書状](郡中で年始の贈答を差止め)	1点	国勢調査員任命状	1点
乍恐以書付御届奉申上候(文之丞の訴訟につき)	1点	昭和元年十二月二十八日踐祚後朝見ノ儀ニ於テ賜ハリタル勅語	1点
証(通券23枚代価69銭、御膳料50銭の受取)	1点	国勢調査尽力につき感謝状	1点
覚(橋の木一本代の受取)	1点	国勢調査員任命状	1点
記(帳面仕物料残金90銭の受取)	1点	国勢調査員任命状	1点
[記](金57銭5厘の受取)	1点	失業統計調査員任命状	1点
[記](帳面統合の代金5円55銭5厘)	1点	国勢調査員任命状	1点
切回状(当季無国内割のため出銀のこと)	1点	大札記念事業尽力につき感謝状	1点
記(12月割の勘定につき)	1点	国勢調査の趣旨	1点
証(金1円50銭のご寄付受取)	1点	国勢調査失業統計調査ニ関スル質疑解答	1点
記(金5円28銭2厘)	1点	大正十四年国勢調査従事員必携	1点
証(一橋殿蔵元年賦返済金の受取)	1点	国勢調査員必携	1点
明治9年4月1日書入質(図面あり)	1点	大正9年国勢調査大阪市統計摘要	1点
[荒絵図](田、綿の作付と名前)	1点	失業統計調査従事員必携	1点
記(善福寺堂庫裏払い代金60円25銭の受取)	1点	昭和五年国勢調査記念絵葉書	8点
証(実地測量手数料の受取)	1点	国勢調査並びに失業統計調査尽力につき感謝状	1点
記(小田村森元喜三郎養子常次郎の離縁復籍につき)	1点	配給券はさみ	1点
[荒絵図]	1点	亜鉛等配給関係書類	8点
譲り受申田地之事(文七所持の田地、頼母子掛銀譲り請けのこと)	1点	処置料・注料につき領収書	1点
一札(金5円50銭の受取)	1点	集団疎開児童健康調査報告	3点
[書状](岸の浅井氏の便りにつき)	1点	指定衣料品購入通帳	1点
覚(堺行きの手代につき)	1点	日本赤十字社定款	1点
記(上地床のうち干水につき田格として金10円の差し戻し分受取)	1点	締盟状	1点
覚(杭代468匁の受取)	1点	妊産婦手帳	1点
記(金3円96銭1厘の受取)	1点	第一期種痘済証	1点
記(新築学校寄進金5円72銭の受取)	1点	第一期種痘済証	1点
請(金50銭酒6升の寄附受取)	1点	第二期種痘済証	1点
記(金一封をこのまま預かりのこと)	1点	第二期第一回種痘済証	1点
記(森口伊之吉取替金1円73銭8厘の受取)	1点	第一期種痘済証	1点
記(御膳料、牛王料の受取)	1点	第一期種痘済証	1点
覚(武右衛門ほか3名からの受取勘定)	1点	日本赤十字社大阪支部病院優待券	1点
記(髪結税、分保費、太神宮初穂料金3円85銭1厘の受取)	1点	種痘済証	1点
記(瓦代など受取)	1点	種痘済証(定期)	1点
記(銭48銭の受取)	1点	ジフテリア予防接種済証(第3期)	1点
記(杣挽賃80銭の受取)	1点	種痘済証(第3期)	1点
記(金5円の受取)	1点	種痘済証(定期)	1点
覚(提灯代ほかの受取)	1点	第六回幸運の定額郵便貯金	1点
記(牛王料、五千両の受取)	1点	戦時貯蓄債券(戦時報国債券を含む)	22点
証(図面直し手数料金30銭の受取)	1点	昭和十年国勢調査員書類	1点
記(半紙代36銭の受取)	1点	国勢調査員手帖	1点
[記](下脇田地の高につき)	1点	国勢調査用紙	17点
覚(4月3日 壱口分半御役所上下)	1点	国勢調査員必携	1点
記(村分郵便賃38銭1厘の受取)	1点	国勢調査員必携(昭和十年国勢調査)	1点
[記](金20銭の受取)	1点	昭和十年十月一日国勢調査申告書	1点
善福寺恵海僧退住諸勘定	1点	大正九年十月一日国勢調査申告書	1点
[奥書](屋敷ほか6件の質入れにつき、前書きの通り相違なく奥印のこと)	1点	国勢調査(案内チラシ)	1点
証(手数料金22銭の受取)	1点	国勢調査員異動通知	1点

国勢調査員宛府会議員総選挙につき注意書	1点	大阪自転車商組合評議員当選書	1点
国勢調査関係書類内訳	1点	大阪自転車商組合代議員当選書	1点
昭和十年十月一日国勢調査申告書(練習用)	75点	桃園組合評議員当選通知書	1点
昭和五年十月一日国勢調査申告書(練習用)	1点	建物利用届	1点
封筒(大阪府工芸協会→三ツ山周安)	1点	地代届書	2点
封筒(官幣大社榎原神宮講社本部→三ツ山周安)	1点	封筒(万朝報社総務局→三ツ山周安)	1点
永代資堂基本有志金領収証	1点	名誉社友推薦につき証	1点
桃園分会への金品寄贈につき謝状	1点	万朝報社名誉社友推薦につき案内	1点
明治神宮奉賛会献納金領収証	1点	万朝報 各県下に地方版を新設	1点
追白(大阪市長)	1点	未廣	1点
封筒(大阪市長→三ツ山周安)	1点	国勢調査員従事につき感謝状	1点
大阪自転車商組合代議員当選書	1点	大正十四年国勢調査失業統計調査 大阪市調査員手簿	1点
桃園青年団評議員推薦につき通知書	1点	国勢調査員並びに失業統計調査員として熱誠劇務につき感謝状	1点
桃園衛生組合当選通知書	1点	国勢調査並びに失業統計調査良好の成績につき感謝状	1点
榎原神宮講社特別講員加盟並びに入講金寄納につき感謝状	1点	日本赤十字社正社員認定証	1点
関東地方震災罹災避難者調査事務委託状	1点	国勢調査員として熱誠努力につき感謝状	1点
大楠公六百年祭記念品封筒	1点	国勢調査員として熱誠につき感謝状	1点
大楠公御首墓前燈籠之銘図	1点	国勢調査員快諾につき感謝状	1点
大日本楠公会正会員之証	1点	桃園部内国勢調査員名簿	1点
青年団委員として熱誠尽瘁につき感謝状	1点	大阪市第一回国勢調査記念誌	1点
国勢調査員宛感謝状封筒	1点	大正十四年国勢調査結果表	1点
震災調査尽瘁につき感謝状	1点	大阪市国勢調査報告書 大正十四年	1点
出征に際しての御懇情につき感謝状	1点	昭和五年国勢調査大阪市報告書	1点
相続税課税通知書	1点	昭和十年国勢調査結果概要	1点
保育証書(三ツ山悦郎宛)	1点		
相続税課税通知書	1点	◇羽間智津子氏寄贈資料	
修業証書(三ツ山悦郎宛)	1点	卒業記念帖(恵美第三尋常小学校)	1点
出席精励につき賞状(三ツ山悦郎宛)	1点	卒業記念帖 第三回(恵美第三尋常小学校)	1点
修業証書(三ツ山悦郎宛)	1点	大阪市立北区実科女学校 創立十周年記念	1点
修業証書(三ツ山悦郎宛)	1点	卒業記念写真帖(大阪市立北区実科女学校)	1点
修業証書(三ツ山悦郎宛)	1点	天王寺第五小学校大正十三年度秋季大運動会絵葉書	2点
卒業証書(三ツ山悦郎宛)	1点	京橋第一相互ビルディング絵葉書	1点
出席精励につき賞状(三ツ山悦郎宛)	1点	京阪商業学校絵葉書	3点
出席精励につき賞状(三ツ山悦郎宛)	1点	大安寺絵葉書	2点
修業証書(三ツ山悦郎宛)	1点	洲本港絵葉書	2点
精勤につき賞状(三ツ山純宛)	1点	新阪堺線・住之江公園絵葉書	2点
精勤につき賞状(三ツ山純宛)	1点	住之江公園野球場絵葉書	1点
精勤につき賞状(三ツ山純宛)	1点	朝日会館新築記念絵葉書	1点
修業証書(三ツ山純宛)	1点	昭和大礼記念大阪城公園絵葉書	1点
技能優秀につき賞状(三ツ山純宛)	1点	本覚寺絵葉書	15点
精勤につき賞状(三ツ山純宛)	1点		
卒業証書(三ツ山純宛)	1点	◇佐々木晶代氏寄贈資料	
保育証書(三ツ山純宛)	1点	Photographs(写真帳)	1点
修業証書(三ツ山純宛)	1点	ALBUM(写真帳)	1点
精勤につき賞状(三ツ山純宛)	1点	アルバム	1点
修業証書(三ツ山純宛)	1点	昭和四年三月 京都帝国大学医学部卒業記念写真帖	1点
修業証書(三ツ山純宛)	1点		
修業証書(三ツ山純宛)	1点	◇清水豊氏寄贈資料	
皆勤につき賞状(三ツ山純宛)	1点	市内めぐり	1点
卒業証書(三ツ山千両宛)	1点		
精勤賞賞状(三ツ山千両宛)	1点	◇前田佳昭氏寄贈資料	
卒業証書(三ツ山栄宛)	1点	大阪府立農学校卒業記念帖(Album)	1点
方面委員事業救済への金寄贈につき感謝状	1点		
桃園警防団への金寄贈につき感謝状	1点	◇三好智子氏寄贈資料	
桃園教育会への金寄贈につき感謝状	1点	宮里瓢遊筆 狂歌「七十と」	1点
東賑町南北町会への金寄贈につき謝状	1点		
桃園分会への金寄贈につき謝状	1点		
修業成績優等につき賞状(三ツ山修一宛)	1点	●民俗	
修業証書(三ツ山修一宛)	1点	◇三好智子氏寄贈資料	
修業成績優等につき賞状(三ツ山修一宛)	1点	朱塗膳	10点
修業証書(三ツ山修一宛)	1点	雛膳椀添	2点
修業成績優等につき賞状(三ツ山修一宛)	1点	朱塗柳桜図懐石具一式	1点
卒業証書(三ツ山修一宛)	1点	朱塗組膳	1点
修業証書(三ツ山修一宛)	1点	赤絵蓋付飯碗	2点
修業成績優等につき賞状(三ツ山修一宛)	1点	青漆縁金吸物椀	10点
修業証書(三ツ山修一宛)	1点	吉向焼蛤形脚付皿	10点
精勤につき賞状(三ツ山修一宛)	1点	桜図菱形三段重	1点
金属新着色法講習会修了証書	1点	色絵蓋付茶碗	8点
卒業成績優等につき賞状(三ツ山修一宛)	1点	雛用手皿皿式拾人前	20点
精勤につき賞状(三ツ山修一宛)	1点	朱塗菓子椀	10点
保育証書(三ツ山修一宛)	1点	雛用茶道具一式	1点
卒業証書(三ツ山修一宛)	1点	鉄小風炉肩衝釜添	1点
修業証書(三ツ山修一宛)	1点	琴	1点
封筒(桃園衛生組合事務所→三ツ山周安)	1点	●美術	
桃園衛生組合評議員当選通知書	1点	◇大谷徹契氏寄贈資料	
桃園衛生組合役員総選挙委員囑託書	1点	舞姿図	1点
桃園衛生組合常務評議員当選通知書	1点	軍鶏図	1点
封筒(大阪自転車商組合事務所→三ツ山周安)	1点	双鶏図	1点
桃園青年団評議員囑託書	1点	軍鶏図扇面	1点
大阪鍍金同業組合会計主任当選通知書	1点	軍鶏図扇面 灼熱降伏	1点



## 資料のデータ整備・特別観覧・貸出し

### データ整備

#### ●写真撮影

本年度は下記の館蔵資料について撮影を行った。

- ・62点（美術工芸資料10点、建築資料10点、歴史資料2点、万博関係資料40点）

#### ●図書を受入

今年は新たに2,740件の新規登録を行った。内訳は、国内外の関係機関・個人からの寄贈2,452件、特別観覧献本46件、移管20件、購入194件、自主刊行物の登録28件であった。蔵書は当館2階の学習情報センター「なにな歴史塾」において閲覧サービスを行っている。

### 特別観覧

撮影10件（151点）、実測2件（6点）、閲覧20件（400点）、掲載・掲出133件（637点）、放映33件（133点）、デジタルオンデマンド39件（135点）、その他5件（15点）の計242件（1,477点）の特別観覧があった。

※（ ）内は資料点数。件数・点数ともに重複を含む。

### 館蔵資料の貸出し

令和4年度に他機関の貸出希望を受諾した資料数は下に掲げた表の通りである（21件108点）。

申請者	数	展覧会名称	貸出期間
サントリー美術館	3	歌枕—あなたの知らない心の風景	令和4年6月10日～9月6日
京都市美術館（京都市京セラ美術館）	1	特別展「綺麗めく京の明治美術—世界が驚いた帝室技芸員の神業—」	令和4年6月3日～9月29日
佐賀県立名護屋城博物館	1	特別企画展「肥前名護屋、煌めく—豊臣秀吉と桃山文化—」	令和4年9月7日～11月23日
株式会社虎屋 虎屋文庫	1	虎屋京都ギャラリー開催「作刀50年 刀匠 河内國平展」	令和4年4月15日～5月16日
堺市博物館	3	特別展「堺と武将—三好一族の足跡—」	令和4年10月4日～12月20日
三重県立美術館	27	開館40周年記念「岡田米山人・半江展」	令和4年9月16日～11月28日
市立伊丹ミュージアム	3	特別展「蕪村の手紙Ⅱ」	令和4年9月5日～11月11日
釜山広域市立博物館	3	2022年度国際交流展「朝鮮時代の釜山の絵師たち」	令和4年9月27日～12月9日
サントリー美術館	5	「没後190年記念 木米」	令和5年1月20日～4月26日
紅ミュージアム	1	企画展「ちいさい、ちっさい、ちっちゃ！」	令和4年6月20日～12月28日
香川県立ミュージアム	10	特別展「風景が語る瀬戸内の力—自然・歴史・人の共鳴—」	令和4年9月1日～11月13日
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	2	令和4年度企画展示「いにしえが、好き！—近世好古図録の文化誌—」	令和5年2月8日～5月17日
関西大学博物館	1	2022年度夏季企画展「関大と刀匠國平」	令和4年7月11日～10月17日
池田市立歴史民俗資料館	3	特別展「屏風祭—池田の文化をひらく—」	令和4年10月6日～12月7日
公益財団法人 泉屋博古館	1	特別展「木鳥櫻谷—山水夢中—」	令和4年10月27日～令和5年7月1日
吹田市立博物館	3	秋季特別展「神崎川展—川港・吹田のものがたり—」	令和4年9月16日～11月12日
対馬博物館	12	ユネスコ「世界の記憶」登録5周年記念特別展「対馬の外交Ⅱ朝鮮通信使」	令和4年10月7日～12月16日
大山崎町歴史資料館	2	第30回企画展「古地図の魅力—地図で旅する大山崎」	令和4年10月14日～12月2日
大阪中之島美術館 東京ステーションギャラリー 毎日新聞社	24	開館一周年記念特別展 大阪の日本画	令和5年1月9日～6月26日
大阪市立住まいのミュージアム	1	企画展「大阪の長屋」	令和5年2月17日～5月8日
月山日本刀鍛錬道場 美術刀剣岩本商店	1	阪急うめだ本店9階うめだギャラリー「日本刀展 月山」	令和5年3月7日～3月14日

## 教育普及事業

### 講座・見学会

#### ●なにわ歴博講座

- 6月12日 「環状線考現学—鉄道遺産から「妄想駅名」まで—」船越幹央 125名
- 7月18日 「江戸から明治時代にかけての大阪のお菓子屋マップ」杉本厚典 104名
- 8月28日 「津軽地方に息づく大阪の文化—弘前藩御用菓子司・大阪屋について—」北上真生 71名
- 9月25日 「珍鳥の絵画—江戸時代の京都大坂を中心に—」岩佐伸一 30名
- 10月1日 「大阪の戦国を考えるⅡ 戦国期の本願寺教団と摂津国」大澤研一 67名
- 11月27日 「大阪の戦国を考えるⅡ 権力と向き合う—人々目線の戦国時代—」谷口正樹 65名
- 12月18日 「大阪の戦国を考えるⅡ 大阪市内の平地城館と環濠集落」岡本健 82名
- 1月29日 「韓国遺跡散歩—渡来人のふるさとを訪ねて—」寺井誠 79名
- 2月26日 「前期難波宮の謎を考える—内裏・朝堂院・八角殿を中心に—」李陽浩 79名
- 3月19日 「館蔵品の故地を訪ねて—遠里小野遺跡と古代漁撈活動—」安岡早穂 19名

#### ●「なにわの日」講演会（大阪市文化財協会と共催）

- 7月28日 「難波宮跡 東方官衙地区の調査と研究—最初期の発掘調査から最新の研究成果まで—」田中裕子（大阪市教育委員会）、「前期難波宮の源流を探る」村元健一 70名

#### ●金曜歴史講座（大阪市文化財協会と共催）

- 3月17日 「古代の史料の話—類聚三代格—」寺崎保広（大阪市文化財協会 理事長）57名
- 3月24日 「発掘からみた中世大阪の沿海開発—難波砂堆」南秀雄（大阪市文化財協会）82名

#### ●大阪府教職員互助組合歴史セミナー

- 11月19日 「刀剣—古代の武といのり—」寺井誠 115名

#### ●考古学入門講座 なにわ考古学散歩「大阪市内の城を歩く」

- 10月29日 「大阪城と近代建築」24名
- 11月6日 「野田城から海老江へ」14名

### 特別展・特集展示等関連の講演会・展示解説

#### ◇特別展「～浮世絵師たちが描く～絶景!滑稽!なにわ百景!」

- 講演会「近世大坂の名所を読み解く」  
「江戸時代の名所観～ナドコロからメイショへ～」  
上杉和央氏（京都府立大学 文学部准教授）・「版本挿絵にみる近世大坂名所の移り変わり」大澤研一  
5月8日 117名

#### ◇特別企画展「和菓子、いとおかし—大阪と菓子のこれまでと今—」

- 学芸員によるスライドトーク  
7月23日 57名、8月13日 105名
- 対談「大阪と菓子のこれまでと今」今中智英氏（株式会社鶴屋八幡 代表取締役社長）・大澤研一  
7月31日 126名

#### ◇特別企画展「刀剣～古代の武といのり～」

- 連続講座  
10月22日「武器の始まり—弥生時代・古墳時代前期の刀剣—」城門義廣氏（福岡県教育庁）63名  
10月23日「武器の形態と組み合わせ—古墳時代中期への変化—」高木清生氏（奈良県立橿原考古学研究所）65名

11月12日「金色の大刀からみたヤマト王権—古墳時代後期の刀剣—」吉松優希氏（島根県古代文化センター）67名

11月13日「巨大古墳群とその工房—大阪府の展示資料の紹介を兼ねて—」寺井誠 57名

●シンポジウム『刀剣が語る巨大古墳の時代』（第6回古代歴史文化講演会）10月30日 130名

#### ◇特別企画展「一橋本コレクション受贈記念—文明開化のやきもの 印版手」

- 学芸員によるスライドトーク  
1月28日 13名、3月4日 43名
- 見学会 一日まるごと印版手ツアー「四天王寺骨董市で掘り出し物探し!」2月22日 9名
- 講演会「印判手食器の観賞入門—輸入から国産へ」岡泰正氏（神戸市立小磯記念美術館 館長）2月11日 82名

#### ◇特集展示「新発見!なにわの考古学2022」

- 講演会「大阪の歴史を掘る2022」（大阪市文化財協会と共催）  
「大阪市内の発掘調査成果—令和3年度を中心に—」大庭重信（大阪市文化財協会）、「近世大坂における火葬と土葬—梅田墓発掘の意義—」木下光生氏（奈良大学教授）9月11日 79名

#### ●展示解説

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示会場における特別展・特別企画展・特集展示の展示解説および毎週土曜日と日曜日の常設展示解説の実施を見合わせ、スライドトーク、解説動画の公開を実施した。

### 「なにわ歴博」わくわく子ども教室事業

本事業は主に小学生・中学生を対象とし、土日祝日を中心に実施している。令和4年度は下記の事業を実施した。

- ①ふわふわの綿花からタネを取り出そう! @れきはくコットンプロジェクト 7月30日 70名
- ②考古学者になってみよう 8月20日 8組 17名
- ③近代建築ダンボールクラフト体験 12月17日・18日 9組 17名
- ④凧づくりと凧あげ 1月28日 14組 38名

### 難波宮遺跡探訪

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見合わせていたが、令和4年5月11日から15時の回のみ定員10名で解説を再開した。5世紀の復元倉庫公開は行わなかった。

### 謎解きゲーム・巡礼クイズ

- リアル謎解きゲーム「時をさまよう皇子と失われた都」760名（予定数完売）
- リアル歴史巡礼クイズ「五代友厚と歩く 幕末・明治の大阪」266名

### 学習情報センター「なにわ歴史塾」

当館2階の無料空間内にある。開架図書約6,000冊の閲覧、学芸員による学習相談に応じた。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、映像ソフト約100件の閲覧、「昔の大阪」写真ライブラリー約7,000枚の閲覧は中止した。検索端末を利用した館蔵図書検索や大阪市内博物館・美術館ホームページ閲覧などのコーナーを用意し、市民の歴史学習を支援するとともに、利用案内リーフレットの作成、「なにわ歴史塾ブログ」・掲示板や新着図書コーナー・わくわく子ども教室コーナーの随時更新など、利用推進を図った。また今年度も司書を中心にして、「大阪中之島美術館 開館記念特集」（3/30～

5/16)、「レトロなピクニックを楽しもう！」(5/18～7/4)、「異界探訪」(7/6～8/29)、「蹴鞠(けまり)」(8/31～10/24)、「大阪検定2022」(10/26～12/12)、「知っているようで意外と知らない？徳川家康」(12/14～1/30)、「華麗なる宝塚歌劇の世界」(2/1～3/27)の7回の特集を企画し、関連書籍を配架した。令和4年度の入室者数は12,702名、書庫出納件数は159件、複写利用件数は351件であった。

## 学校連携事業

学校教育との連携をはかるために、学校における進路学習のための職場体験学習等を受け入れている。また、大学からの博物館実習・見学実習やインターンシップの受け入れを行った。

### ●学校職員の研修の受け入れ

#### ◇新規採用社会体験研修

大阪市立の中学校の教員研修を実施した。

8月5・17日 大阪市立日本橋中学校教員研修1名

#### ◇大阪市教員研修(主催：大阪市教育センター)

8月5日 大阪市立学校園教職員 49名

市立の校園に勤務する教員が大阪の歴史・文化への理解を深め、地域学習のための素材を提供するとともに大阪歴史博物館の活動を理解し利用を促進するために、大阪市教育センター主催の連携研修を実施した。今回は「わたしたちの大阪」に関する調べ学習への協力事例紹介」と題して、当館が教育の現場に提供した大阪の地域学習にかかる事例を大阪市立野田小学校首席教諭や当館館長・学芸員によって紹介が行われた。また、本事業は大阪市博物館機構主催「教員のための博物館の日」を兼ねるものであった。

### ●学校団体(小中学校および高等学校)への教育支援および職業体験の受け入れ

7月6日 私立湘南学園高等学校8名 総合学習への協力

7月13日 大阪府立高津高等学校6名 職場訪問

8月19日 兵庫県立西宮今津高等学校1名 職場訪問

9月8・9日 大阪市立南港北中学校2名 職業体験

9月26日 私立開智学園日本橋中学校5名 総合学習への協力

10月19・20日 大阪市立花乃井中学校2名 職業体験

11月17・18日 大阪市立天満中学校2名 職業体験

12月26日 岐阜県立加納高等学校7名 研修への協力

### ●考古学体験教室

令和4年度は「瓦の拓本」と「難波宮遺跡探訪(学芸員による遺跡案内)」を実施した。実施にあたっては、小学校高学年を対象とし、希望する学校の調整には大阪市小学校社会科研究会の協力を得た。11月4・7・9・14日に、6校322名の児童を受け入れた。

### ●博物館実習の受け入れ

博物館法および博物館法施行規則に基づく学芸員資格取得のための博物館実習は9大学52名を受け入れ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しつつ2期に分けて実施した。なお、公の施設における市民サービスの公平性および受益者負担の考え方から、実習に要する費用として1人あたり5,000円を徴収した。

◇8月22日～26日 大阪公立大学19名、関西学院大学2名、同志社大学2名、奈良大学4名(計27名)

◇8月29日～9月2日 大阪大学20名、京都橋大学1名、甲南女子大学1名、佛教大学2名、大谷大学1名(計25名)

◇見学実習は、関西大学、京都女子大学、大阪成蹊大学、大阪樟蔭女子大学、近畿大学、大阪商業大学の6大学から合計141名(教職員8名を含む)を受け入れた。

### ●インターンシップの受け入れ

大阪公立大学からの依頼により、「リゾーム型研究人材育成プログラム」に基づき博士研究員1名(日本中世史専攻)を長期インターンシップとして受け入れた(6月～8月、基本週2日)。

## ボランティア関連事業

大阪歴史博物館では、市民参加型の開かれた博物館活動の重要な事業の一つとして、ボランティアを導入している。この活動は自らの興味・経験・知識・技術などを活かして、社会に貢献する場を市民に提供するとともに、来館者へのサービスを向上させ、博物館活動を活性化させることを目的としている。令和4年度当初のボランティア登録者は174名であったが、年度中に9名が活動を辞退したため、最終的に165名となった。

### ●活動

新型コロナウイルス感染症拡大以前の当館でのボランティア活動では、「遺跡探訪・歴史を掘る班」による難波宮遺跡ガイドツアー、8階歴史を掘るコーナーでの案内・説明、「スタンプラリー・ハンズオン班」によるスタンプラリーの補助、古代装束着付け体験、基壇の立体パズル、江戸時代の両替体験、扇による的当て体験、明治時代の双六体験、着物着付け体験を行ってきた。しかし、今年度についても前年度と同じく活動は休止したままで、再開することができなかった。

### ●研修

コロナ禍のため特定の研修は実施せず、展示見学および講座聴講による自主研修のみを行った。常設展を見学する自己研修についてはのべ42名、特別展はのべ23名の参加があり、講座聴講による自己研修についてはのべ142名が参加した。

### ●ボランティアだよりの発行

コロナ禍で活動できない中で、ボランティアとの関係を保ち、館からの情報を発信できるよう、令和2年3月より『ボランティアだより』を発行し、各ボランティアに送付している。今年度からは、メールマガジン形式による配信を開始し、35～39号を発行した。

### ●ボランティアの見直し

コロナ禍の3年間でハンズオン等のボランティア活動を休止したことにより、今後の活動を安全に再開するために、活動内容も含め、新たな活動方針を検討した。

## 連携事業・大阪歴史博物館友の会との連携

### 博物館群等の連携事業

大阪市の博物館・美術館等の施設が連携し、大阪の魅力をアピールするための事業を実施した。前年に引き続き地方独立行政法人大阪市博物館機構事務局による推進体制をとり、当館もそれに参画した。

### ●OSAKA MUSEUMS学芸員TALK & THINK(Web開催)

大阪市博物館機構に属する6館の学芸員による連続講

座に講師を派遣した。2月5日「錦影絵について」澤井浩一、2月12日「中世大坂の「都市」」谷口正樹、2月18日「難波宮と東アジア」村元健一、2月25日「生駒山民俗探訪」俵和馬、「なにわ菓子物語」北上真生、2月26日「戦国の城を探す—大阪市内の事例から—」岡本健

●大阪フィルムアーカイブ計画 2022年度 収蔵・所蔵フィルム上映会（大阪中之島美術館、ミュージアム活性化実行委員会他と共催）

地域に眠る映像資源（8ミリ、9.5ミリ、16ミリフィルム等）を発掘すべく「大阪フィルムアーカイブ計画」を実施した。3月11・12日の無料上映会（プラネット・プラス・ワン）では、当館・船越幹央の解説を録音した公開用映像パッケージを制作し、上映した。また、3月13日にオンライン・シンポジウムを開催し、地域映像活用の可能性を議論した。

●広報誌「Osaka Museums」

大阪市博物館機構内の6つの博物館・美術館と、機構と連携協定を結ぶ（一財）大阪市文化財協会の情報を掲載した広報誌21～24号を発行し、当館も情報を提供し掲載した。

●教員のための博物館の日2022

大阪市博物館機構事務局が主催し、教員向けに大阪市内の博物館・美術館を紹介する「教員のための博物館の日」に例年参加している。今年度は8月5日に実施し、参加者は58名だった。

## 高校・大学との連携事業

●キャンパスメンバーズ制度

大阪市博物館機構の取り組みの一環としてキャンパスメンバーズ制度を導入しており、本年度は大阪大学、公立大学法人大阪、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎、大阪府教育センター附属高等学校が会員となり、年間利用者は順に460名、506名、9名、4名であった。

●大阪公立大学との連携

大阪市博物館機構が法人として大阪公立大学と締結している包括連携協定事業に基づき実施される事業に参加した。

今年度は大阪公立大学開講の博物館関連講義へ下記の学芸員を派遣した。

- ・博物館経営論：大澤研一
- ・博物館資料保存論：松本百合子、寺井 誠
- ・博物館展示論：澤井浩一、豆谷浩之、村元健一、飯田直樹、阿部文和

## 地域・その他の連携事業

●NPO法人まち・すまいづくりとの連携

NPO法人まち・すまいづくりと共催で、日本風の会大阪の協力のもと、なにわ歴博わくわく子ども教室「風づくりと風あげ」（1月28日）を実施した。また、あべのハルカス等での広報事業においても協力を得た。

●クラブツーリズムとの連携

クラブツーリズムと連携し、マイクロツーリズムをはじめとした旅行企画を定期的に関係、販売、実施した。令和4年度には、「海賊たちの戦国時代」（10/15、1/14・15、3/21・22、のべ67名参加）、「歩いてめぐる南都七大寺の仏像」（11/4、12/2、1/13、2/3、3/3、のべ87名参加）を企画・実施した。

●「オオサカアートフェスティバル」デジタルスタンプラリー「Art Strolling アート de まちめぐり」（主催：大阪府オオサカアートフェスティバル事務局）

3月1日～3月12日「アートスポット」登録、二次元コード設置・景品提供

●大阪市老人クラブ連合会との連携

6月30日～9月4日 当館と共同でポスターを制作し、双方の事業に関する広報周知を図った。

●関西考古学の日2022（主催：「関西考古学の日」実行委員会）

9月1日～11月30日 スタンプラリー・景品授与

●関西文化の日

11月20日に実施し、常設展示の観覧料を無料とした。計1,392名の観覧者があった。

●「和菓子、いとおかし」プロジェクト

特別企画展を中核に、株式会社鶴屋八幡の協力により、大阪市立中大江小学校とも3者連携し、6年生3クラスの展示見学とお話（9月5日）、アクリル粘土による和菓子作り体験授業（9月16日）を実施し、概要を動画で公開した。

●大阪税関との連携

10月1日～11月30日 当館1階エントランスにて税関発足150周年の歴史を紹介するパネル展示を開催した。

●大阪迎賓館との連携

11月17日 大阪迎賓館とタイアップしたナイトツアーを開催した。11名

●サクヤコノハナとのアンバサダー契約

アイドルユニット「サクヤコノハナ」とアンバサダー契約を締結し、愛称を「れきはくメイト」として各種イベントの企画開発を行った。

## 共催事業

●第38回歴史学入門講座（主催：第38回歴史学入門講座実行委員会）7月17日「障害史研究の可能性」高野信治氏（九州大学名誉教授）36名

●「武家拠点科研」大阪研究集会（主催：「武家拠点科研」事務局）11月5・6日 100名

●ユネスコ「世界の記憶」登録5周年記念事業「朝鮮通信使フィールドワーク 水都大阪に残る朝鮮通信使の足跡をたどる」（主催：駐大阪韓国文化院）11月23日 解説：大澤研一 38名

●シンポジウム「軍事・戦争遺跡を未来に生かす道—近代遺跡保存の条件とエコミュージアムの可能性—」（主催：NPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会）11月23日 基調講演、報告・ディスカッション パネラー：船越幹央 76名

●水都大阪コンソーシアム「水都大阪物語 講談×音楽×歴博 ～大阪歴史のうそ・まこと～」（主催：水都大阪コンソーシアム）3月12日 講談：玉田玉秀斎、アコーディオン：かとうかなこ、解説：船越幹央 118名

●水都大阪コンソーシアム「水都大阪物語 講談×音楽×歴博 ～大阪歴史のうそ・まこと～」（主催：水都大阪コンソーシアム）3月12日 講談：玉田玉秀斎、アコーディオン：かとうかなこ、解説：船越幹央 118名

●水都大阪コンソーシアム「水都大阪物語 講談×音楽×歴博 ～大阪歴史のうそ・まこと～」（主催：水都大阪コンソーシアム）3月12日 講談：玉田玉秀斎、アコーディオン：かとうかなこ、解説：船越幹央 118名

## 「大阪歴史博物館友の会」との連携

「大阪歴史博物館友の会」は平成26年度以降、自主運営団体として活動している。当館からは役員として顧問を派遣しているほか、幹事会での助言や総会での講演、見学会への講師派遣を行ってきた。新型コロナウイルス感染症拡大のため活動を休止していたが、今年度から活動を再開した。当館からは、講演会・見学会等4回について講師を派遣し協力した。令和4年度の会員数は、187名（家族会員を含む）であった。

## 文化庁補助金による取り組み

令和4年度文化庁補助金事業「Innovate MUSEUM事業」ミュージアム活性化実行委員会を、当館および地方独立行政法人大阪市博物館機構（事務局）・大阪市立美術館・大阪市立東洋陶館・大阪市立自然史博物館・大阪中之島



美術館・大阪市立科学館・一般財団法人大阪市文化財協会・公益財団法人大阪国際交流センター・公益財団法人大阪観光局で構成し、当館は中核館として「コロナ禍に対応し、ポストコロナを見据えた事業モデルの開発」に参画した。

当館事業では、大阪中之島美術館と共同で、大阪フィルムアーカイブ計画に取り組み、3月11・12日に無料上映会（プラネット・プラス・ワン）、3月13日にオンライン・シンポジウムを開催し、公開用映像パッケージを制作した。

### 令和3年度文化芸術振興費補助金「文化施設の活動継続・発展等支援事業」

前年度に引き続き感染対策事業として、消毒用アルコール等の感染防止資材を購入し、来館者の安心・安全の確保に努めた。

## 展示改修計画

令和2年度から進めている展示改修事業は、令和3年度末に展示改修基本計画を作成し、令和4年度は計画の一部となる特別展示室の展示ケース改修と、事業面の見直しを行った。展示ケース改修では、改修事業者を選定し、改修・更新の設計までを実施した。次年度は施工の予定である。

## CRS プロジェクト

### ●動画配信プロジェクト

インターネットを利用した当館の発信力を高めるため、動画配信プロジェクトを推進した。YouTubeチャンネルにて、特別展解説動画、特別企画展プロジェクト動画、当館アンバサダー（サクヤコノハナ）による紹介動画など38本を制作し、配信した。

### ●グッズ開発プロジェクト

魅力的なミュージアムグッズの開発・販売を推進するプロジェクトに取り組んだ。特別展「絶景！滑稽！なにわ百景！」グッズ（4種類）、特別企画展「和菓子、いとおかし」（3種類）、「文明開化のやきもの 印版手」グッズ（1種類）を独自に製作し、ミュージアムショップ及びオンラインショップにて販売した。

### ●ユニークベニュープロジェクト

当館利用の新たな魅力開発、民間企業等との連携強化のため、ユニークベニュープロジェクトを推進した。リアル歴史巡礼クイズ「五代友厚と歩く 幕末・明治の大阪」、旅行会社と連携したツアーを実施した。アイドルグループとアンバサダー契約を締結し、新たな来館者開拓を図るとともにライブ・イベント企画を実施した（契約は本年度で終了）。また、特別企画展と関連して地元和菓子メーカー・小学校と連携し、関連行事を実施した。

## 新型コロナウイルス感染症対策

令和4年度においては、大阪市博物館機構のガイドラインに沿ってハンズオン等の対面展示の中止、接触が必要な展示物、展示端末等の機器類の使用中止を継続した。

会議室にWebカメラ、スピーカーフォンを購入し、Web会議の機会を増加させた。

講堂、研修室、会議室の利用については、オンライン予約システムを導入し、対面での接客や現金収受の機会を減少させた。

## 文科省委託事業「文教施設による多様なPPP/PFIの先導的開発事業」

展示等の博物館としての基幹事業を除く事業・サービスについて、当館の現状分析をふまえ、最もふさわしい事業形態を、コンサルティング会社、民間企業とともに模索し、事業の枠組み作りを実施した。

## 令和4年度 普及事業の回数（日数）と参加者数

事業	個別事業名	回数	参加人数
教育普及事業	講座・見学会その他	16	1,083
	特別展・特集展示・常設展示、講演会・展示解説	12	943
	なにわ歴博 わくわく子ども教室事業	4	142
	石組み水路公開・AR 難波宮	0	0
	難波宮遺跡探訪・復元倉庫の公開	270	678
学校連携事業	学校職員の研修の受入れ	2	50
	教育支援（職場訪問）	4	20
	教育支援（出前授業）	0	0
	職業体験	3	5
	考古学体験教室	6	322
	博物館実習・見学実習の受入れ	15	193
地域・その他連携事業	共催事業ほか	5	368
ボランティア関連事業	ボランティア活動	0	0
合計		337	3,804

## 広報宣伝活動

館の活動を広くPRし、来館者を誘致するため、報道各社や雑誌・情報サイト等各方面へ積極的に情報提供を行い、交通機関等への広告の掲出も行った。主要な活動は下記のとおりである。

### 定例広報事業

#### ●情報提供

各方面からの問い合わせにともなう本年度の情報提供件数は、特別展・特別企画展関係が218件、特集展示関係が140件、館全体に関する内容・その他が71件であった。

#### ●印刷物の発行

なにわ歴史博カレンダー(81～83号)を発行した。なお、年間展示予定はホームページ上にてPDF形式で公開した。

### その他の広報宣伝事業

#### ●ホームページの公開

ホームページでは特別展・特別企画展・特集展示の開催概要や出品資料などの情報と、各展覧会に関わる講演会をはじめとした関連イベントの案内情報を逐次公開しており、本年度は当館のホームページに472,606件、1日平均1,295件のアクセスがあった(前年度比で約99%)。また、1日の最大接続件数は2,376件(令和4年4月24日)であった。このほかに携帯電話を対象とするモバイルサイト(上記ホームページアクセス件数を含む)や、外部サービスを利用した「なにわ歴史塾ブログ」を継続運用している。

#### ●Twitterの公開

館の公式アカウントで展覧会、催事、トピックス等、日々の情報を発信した。今年度も新型コロナウイルス感染拡大を受けて、積極的な発信に努めた。ツイート数は843件、3月31日現在フォロワー数は9,777名である。

#### ●Instagramの開始

本年度4月1日より、Instagramにて館の公式アカウントを開設し情報発信を開始した。3月31日現在、投稿数は150件、フォロワー数は1,585名である。

#### ●YouTube公式チャンネルの公開

コロナ禍におけるオンライン発信強化のため、当館のYouTube公式チャンネルにおいて、展示解説などの動画を公開した。3月31日現在フォロワー数は762名、公開された動画数は54本である。

## 刊行物

令和4年度は下記2件を刊行した。

#### ●『大阪歴史博物館研究紀要 第21号』

A4判136頁、令和5年3月

#### ●『大阪歴史博物館年報 令和3年度』

A4判24頁、令和4年10月

## 調査研究活動

### 大阪歴史博物館調査研究事業

調査研究事業は、年々高まる市民の方々の歴史に対する関心に応えるため、日常的な資料調査やテーマ研究を通じて成果を蓄積し、広く都市大阪の歴史的特質の解明に関わる検討を行うことを目的としている。とくに当館においては、難波宮の置かれた古代、商工都市として栄えた近世・近代の大阪の研究を重視して、「難波宮研究」および「大阪学研究」を課題とする。今年度は共同研究においては3テーマ、基礎研究においては1テーマを実施した。

### ●共同研究

◇難波宮と東アジア都城の比較研究

担当：村元健一、李陽浩

外部研究員：積山洋(大阪市文化財協会)

◇5世紀代復元倉庫の現状確認調査としての三次元モデル作成

担当：加藤俊吾

外部研究員：仲林篤史(京都府立大学共同研究員)

◇中世後期の大阪市域における平地城館跡・環濠集落跡等の基礎的研究

担当：岡本健、谷口正樹、大澤研一

外部研究員：松尾信裕(関西近世考古学研究会)

### ●基礎研究

◇大阪と江戸・東京との都市比較史研究

担当：豆谷浩之

## 科学研究費助成事業による研究

【研究代表者】

◇基盤研究(C)：李陽浩

「先史～古代建築におけるゴヒラ材使用の歴史的解明」

◇基盤研究(C)：中野朋子

「藪明山の薩摩焼上絵付の技術革新と工房経営に関する研究」

◇基盤研究(C)：寺井誠

「有文当て具痕跡から窺える律令国家成立前後の地方の主体性と対朝鮮半島交流の研究」

◇基盤研究(C)：内藤直子

研究分担者：岩佐伸一

「京金工・大月光興の研究 - 「文人金工」像の確立のために」

◇基盤研究(C)：澤井浩一

研究分担者：中野朋子

「『陶業時報』にみる大阪・瀬戸物町における陶磁器商の活動に関する研究」

◇基盤研究(C)：寺井誠

「タタキ板およびタタキ技法の復元を基にした異文化受容の多様性の研究」

◇基盤研究(C)：李陽浩

「ゴヒラ使いの消長からみた古代建築の構法的変化に関する実証的研究」

◇若手研究：島崎未央

「都市大坂を拠点とする油・植物の流通構造」

【外部機関の研究分担者】

◇基盤研究(A)：李陽浩、村元健一

研究代表者：網伸也(近畿大学)

「東アジア古代都城と都市網の宗教空間に関する総合的・比較史的研究」

◇基盤研究(C)：杉本厚典

研究代表者：南秀雄(大阪市文化財協会)

「大阪中心部における5～17世紀の治水・水防遺構と都市形成過程の研究」

◇挑戦的研究(萌芽)：岩佐伸一

研究代表者：井上智勝(埼玉大学)

「東アジアにおける影幀を用いた人霊祭祀研究に対する方法論の構築」

## 個人の調査研究活動

### ●大澤研一

・専門分野

(1) 日本中世史、大阪地域史

(2) 都市史・中世史

(3) 都市的集落の形成と変容過程・空間構造、経済・宗教機能、対外交渉について

● 著述

「中世木津考」『大阪歴史博物館研究紀要』第21号、pp.1-16、令和5年3月

「堀川でたどる大坂城下町の成立」『近畿文化』870号、近畿文化事務局、pp.5-7、令和4年5月

「大阪の地形の形成」『MACHINAMI』vol46.no531、一般社団法人大阪府建築士事務所協会、pp.5-6、令和4年5月

『大阪ヒストリー百色眼鏡』「[ナニワ]いろいろ1」、[[「ナニワ」いろいろ2]』『MACHINAMI』vol47.no538・539、一般社団法人大阪府建築士事務所協会、pp.19-20、令和5年1月・3月

『朝鮮通信使と大阪』47.「工芸品のモチーフとされた通信使」、48.「通信使の王仁“発見”1ー「さくやこのはな」と大阪ー」、49.「通信使の王仁“発見”2ー従事官南龍翼の功績ー」、50.「方長老がつなぐ縁ー「対馬・盛岡・大阪」駐大阪韓国文化院ホームページ、令和4年4月～令和4年10月

『朝鮮通信使と大阪 第2期』1.「通信使が見た大坂ー使行録を読むー1607年：慶暹『海槎録』①」駐大阪韓国文化院ホームページ、令和5年3月

● 口頭発表

「蓮如一本願寺中興の傑僧ー」シニアCITYカレッジ大阪人物誌：第1回、NPO法人シニア自然大学校、大阪歴史博物館、令和4年4月

「版本挿絵にみる近世大坂名所の移り変わり」特別展「絶景！滑稽！なにわ百景！」講演会「近世大坂の名所を読み解く」、大阪歴史博物館、令和4年5月

「堀・橋・道が語る大坂城下町の成り立ち」近畿文化会臨地講座、近畿文化会、令和4年5月

「浪華の風景今昔ー絵図と名所図会ー」シニアCITYカレッジ歴史を楽しむ科歴史探訪講座、NPO法人シニア自然大学校、プリムローズ大阪、令和4年6月

「明智光秀ー近畿を駆け巡った信長軍の重鎮ー」シニアCITYカレッジ大阪人物誌：第3回、NPO法人シニア自然大学校、大阪歴史博物館、令和4年6月

「戦国期の本願寺教団と河内ー八尾市域を中心にー」八尾市立歴史民俗資料館歴史講座「河内の真宗史」、八尾市立歴史民俗資料館、令和4年6月

「今井宗久ー信長・秀吉に仕えた堺の商人・茶人ー」シニアCITYカレッジ大阪人物誌：第4回、NPO法人シニア自然大学校、大阪歴史博物館、令和4年7月

「よみがえる中世の大坂ーその痕跡をたずねてー」船場大阪を語る会第195回例会、船場大阪を語る会、愛日会館、令和4年7月

「真田信繁（幸村）ー豊臣家に殉じた戦国時代最後の武将ー」シニアCITYカレッジ大阪人物誌：第6回、NPO法人シニア自然大学校、大阪歴史博物館、令和4年9月

「歴史に学ぶ平野郷ー在地都市の歩みと魅力ー」大阪府高齢者大学校 大阪の史跡探訪科、NPO法人大阪府高齢者大学校、大阪府社会福祉会館、令和4年9月

「大坂本願寺戦争と村上海賊」クラブツーリズム海賊たちの戦国時代、クラブツーリズム、大阪歴史博物館、令和4年10月

「くらべて知る三都のなかの大坂ー江戸時代の暮らしと気風ー」南大江郷塾、南大江地域活動協議会、南大江会館、令和4年10月

「明治の淀川改修と神崎川」吹田市立博物館 神崎川展、吹田市立博物館、令和4年10月

「信長を苦しめた大坂本願寺、そして石山合戦（大坂本願寺戦争）」シニアCITYカレッジ文学・歴史Iコース、NPO法人シニア自然大学校、プリムローズ大阪・北御堂ミュージアム、令和4年11月

「海辺の道、紀州街道の成立と歩み」大阪府高齢者大学校 大阪の史跡探訪科、NPO法人大阪府高齢者大学校、大阪府社会福祉会館、令和4年11月

「朝鮮通信使の淀川上り」対馬博物館特別展 朝鮮通信使ー江戸登城・淀川上り・文化交流、対馬博物館、令和4年11月

「『言経卿記』にみる豊臣前期大坂城下町の日々」博学連携講座

「豊臣秀吉の大坂城と城下町ー最近の研究からー」第3回、大阪公立大学文化交流センター、令和4年11月

「真宗の伝流と大阪ー親鸞聖人から蓮如上人までー」・「本願寺が大阪にあった時代、そして江戸時代へ」・「大坂本願寺の故地をめぐる」南御堂入門道場「大阪の歴史のなかの本願寺」1・2・3、真宗大谷派難波別院、御堂会館・大阪城、令和5年1月・2月

「豊臣秀吉と徳川家康ー大阪人は二人をどうみたかー」大阪保険医協会、大阪歴史博物館、令和5年2月

「大坂城ができるまでー豊臣から徳川へー」一般社団法人大阪建設業協会十日会、スイスホテル、令和5年2月

「黒鳥村安明寺の信仰と中世の地方寺院」和泉市文化財活性化推進実行委員会、まなびのプラザ、令和5年3月

● 調査活動

和泉市史編纂関連資料調査 令和4年度中

共同研究「中世後期の大坂市域における平地城館跡、環濠集落跡等の基礎的研究」にともなう市内城館跡・環濠集落跡の現地調査

● 澤井浩一

● 専門分野

- (1) 畿内村落における祭祀組織の研究
- (2) 近畿地方を中心とした芸能史研究
- (3) 大正・昭和初期の大坂における興行史の研究

● 著述

「芳雪画『浪花百景 河堀口』、『大阪松竹座七月大歌舞伎番付』、pp.43、令和4年7月

「瀬戸物町の戦前・戦後一つほ善商店 御崎正之氏に聞くー（前編）」『大阪歴史博物館研究紀要』第21号、pp.51-65、令和5年3月

● 調査活動

令和5年3月 名張市生人形調査

● その他

吹田市立博物館運営協議会委員 令和4年度中

門真市文化財保護審議会臨時委員 令和4年7月～

大阪府公文書館運営懇談会委員 令和5年1月13日

● 船越幹央

● 専門分野

- (1) 日本近代史、文化史
- (2) 近代都市における市民生活・文化・意識の研究
- (3) 大阪・京都を中心とした市民文化の研究

● 著述

「Osaka 再発見 国宝・重要文化財6大江橋・淀屋橋」大阪府歯科保険医新聞、令和4年4月

「大阪における博物館と軍事・戦争遺跡」旧真田山陸軍墓地研究年報10、令和5年3月

● 口頭発表

「中之島と中央公会堂の歴史」シンポジウム「歴史の可能性を可視化するー再現される大阪市中央公会堂コンペ案ー」大阪大学総合学術博物館、令和4年6月

「映画『大阪百景』解説」シンポジウム「大阪まちづくりの軌跡と文化ー大坂を中心にー」常翔学園常翔歴史館、令和4年9月

「大阪における博物館と軍事・戦争遺跡」シンポジウム「軍事・戦争遺跡を未来に生かす道—近代遺跡保存の条件とエコミュージアムの可能性—」旧真田山陸軍墓地とその活用を考える会、令和4年11月

### ●豆谷浩之

- 専門分野
  - (1) 日本近世史、近世考古学
  - (2) 近世都市史
  - (3) 武家の大坂屋敷と都市建設の関係、大坂と江戸の都市比較
- 著述  
「市民参加の古文書展示 大阪歴史博物館特別企画展「大阪町めぐり 喜連」の事例から」日本博物館協会「博物館研究」令和4年8月号
- その他  
古文書学習の支援（喜連村史の会）7月16日、8月20日、9月17日、10月15日、11月19日、12月17日、1月21日、2月18日、3月18日

### ●松本百合子

- 専門分野
  - (1) 考古学
  - (2) 仏教美術史、近世製油業の研究
  - (3) 近世貿易陶磁の研究
- 著述  
「考古学って面白い！」大阪市子育て家庭を応援する「親力アップサイト」コラム第110号 令和5年3月
- その他  
クラブツーリズム「歩いて巡る南都七大寺の仏像」講師 令和4年11月4日「第1回 興福寺～天平・鎌倉の仏と奈良町の伝説を歩く～」、12月2日「第2回 元興寺～飛鳥寺の残照と奈良町を歩く～」、令和5年1月13日「第3回 法隆寺～藤ノ木古墳と太子のおもかげ～」、2月3日「第4回 西大寺～叡尊の南都復興と伎芸天のまなざし～」、3月3日「第5回 東大寺～聖武帝が夢見た鎮護国家の大仏と修二会～」
- (一財)大阪市文化財協会『大阪市文化財協会紀要』第24号掲載論文の査読

### ●李陽浩

- 専門分野
  - (1) 建築史・都市史
  - (2) 古代東アジア建築史
  - (3) 建築技法からみた難波宮の復元的研究
- 著述  
「岩橋型石室におけるゴヒラ石梁について」『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系 62』、pp.381-384、令和4年6月  
「接地面積からみた大仏様建築の特徴：浄土寺浄土堂、東大寺南大門を例に」『日本建築学会大会学術講演梗概集 建築歴史・意匠 2022』、pp.323-324、令和4年9月
- 口頭発表  
「難波宮と法円坂倉庫群」、NPO 法人大阪観光ボランティアガイド協会研修、大阪歴史博物館、令和4年11月23日

### ●岩佐伸一

- 専門分野
  - (1) 美術史
  - (2) 日本絵画史
  - (3) 江戸時代後期の上方の絵画
- 著述  
「〈関西小文化研究会〉江戸時代の動物絵画に見る深意 - 京都と大坂を中心に」『武庫川女子大学生生活美学研究所紀要』第32号、pp.63-74、令和4年11月30日  
「奥村房次郎像 鎌田巖泉筆」(大阪歴史博物館蔵)について—明治六年ウィーン万国博覧会に関する一資料」『大阪歴史博物館研究紀要』21号、pp.17-32、令和5年3月
- 口頭発表  
「天皇の御寺泉涌寺に残された天皇の肖像画」沖縄琉球歴史学会（オンライン）、令和4年12月7日

### ●俵和馬

- 専門分野
  - (1) 民俗学
  - (2) 環境民俗学
  - (3) 自然観、生業、民具
- 著述  
「霊場・生駒山地の産業と民俗—山地西麓に暮らす人々の営み」地方史研究協議会編『シリーズ日本史は面白い 05 日本の歴史を突き詰める—おおさかの歴史』、文学通信、pp.67-78、令和4年11月  
「(講演要旨) 生駒山地の環境民俗」『民俗文化』34、pp.229-232、令和4年12月  
「平野屋新田会所の民俗資料調査」(分担執筆)『大東市文化財調査報告書 平野屋新田会所跡 総合調査報告書』、pp.112-131、令和5年3月
- 口頭発表  
「コロナ禍の博物館と学芸員」(博物館概論ゲストスピーカー)、近畿大学文芸学部、令和4年5月17日  
「大阪歴史博物館特別展示開催協賛講演 菓子、その歴史と文化—「和菓子、いとおかし」展に寄せて—」、南大江郷塾、南大江会館、令和4年7月26日  
「特集展示「大阪近郊の農業—農具とわざの諸相—」展示解説・見学・質疑応答」、近畿民俗学会 2023年1月例会、大阪歴史博物館、令和5年1月21日  
「生駒山民俗探訪」、OSAKA MUSEUMS 学芸員 TALK&THINK、大阪歴史博物館（オンライン）、令和5年2月25日
- 調査活動  
令和4年5月19・29日 大東市の民具調査
- その他  
民具実測実習、近畿大学民俗学研究所、令和5年2月

### ●加藤俊吾

- 専門分野
  - (1) 考古学、考古学史、博物館史
  - (2) 金属器生産に関わる研究
  - (3) 古代～近世における鑄鏡研究

## ●安岡早穂

- ・専門分野
  - (1) 考古学
  - (2) 前近代の漁撈活動、食文化にかかわる研究
- ・著述  
「遠里小野町」周辺採集の漁撈具『大阪歴史博物館研究紀要』21号、pp.43-50、令和5年3月

## ●谷口正樹

- ・専門分野
  - (1) 日本中世史
  - (2) 都市史、地域社会論
  - (3) 戦国期地域社会構造の変容過程
- ・著述  
「研究集会「戦国・織豊期権力論と城郭研究」」『ヒストリア』第294号、pp.53-56、令和4年10月  
「特集「戦国・織豊期権力と城郭研究」討論要旨」『ヒストリア』第296号、pp.82-86、令和5年2月  
「出雲三刀屋家文書Ⅱ」『大阪歴史博物館研究紀要』第21号、pp.59-70、令和5年3月
- ・口頭発表  
「三好長慶一地盤固めが築いた天下」シニアCITYカレッジ、令和4年5月16日  
「中世人の「お参り」①」南大江郷塾、令和4年5月24日  
「中世人の「お参り」②」南大江郷塾、令和4年6月21日  
「高山右近」シニアCITYカレッジ、令和4年8月1日  
「武家権力と地方都市」「武家拠点科研」総括シンポジウム、令和4年11月6日  
「豊臣大坂城と城下町一秀吉の城づくり」银杏生涯学習会、令和5年1月9日  
「中世大坂の「都市」」OSAKA MUSEUMS 学芸員TALK&THINK、令和5年2月12日
- ・調査活動  
共同研究「中世後期の大阪市域における平地城館跡、環濠集落跡等の基礎的調査」に伴う市内城館跡・環濠集落跡の現地調査
- ・その他  
「信長公記 守り継ぐ使命」コメント、産経新聞、令和4年6月2日  
「とことん調査隊」コメント、日本経済新聞、令和5年1月31日  
クラブツーリズムツアー「海賊たちの戦国時代」講師、令和4年10月15日、令和5年1月14・15日、令和5年3月21・22日

## ●杉本厚典

- ・専門分野
  - (1) 日本考古学
  - (2) GIS考古学、産業マップ、弥生土器・土師器の編年研究
- ・論文  
「発掘された堤防遺構～先史・古代編」研究代表者南秀雄：『大阪中心部における5～17世紀の治水・水防遺構と都市形成過程の研究』平成31年度～令和4年度（独）日本学術振興会による科学研究費助成事業基盤研究（C）、pp.141-156、令和5年3月

「江戸時代から明治時代にかけての大阪の菓子店の立地変遷について-産業マップの検討を通して-」大阪歴史博物館『大阪歴史博物館研究紀要』第21号、pp.19-42、令和5年3月

- ・口頭発表  
「発掘された堤防集成」科学研究費補助金（基盤研究（C）19K01120「大阪中心部における5～17世紀の治水・水防遺構と都市形成過程の研究」）、令和4年5月14日
- ・調査活動  
科学研究費補助金（基盤研究（C）19K01120）により「山梨県御勅使川・釜無川・笛吹川流域」水利施設の巡検、令和4年8月27・28日

## ●飯田直樹

- ・専門分野
  - (1) 歴史学
  - (2) 日本近現代史
  - (3) 都市史、社会福祉史
- ・著述  
「日本から見たオスマン帝国の都市社会と近代化」『歴史科学』第249号、pp.30-35、令和4年5月  
「大阪相撲の部屋と勸進」塚田孝編『社会集団史（新体系日本史8）』山川出版社、pp.129-145、令和4年6月  
「戦争と福祉・ボランティア 一田中半治郎の遺品から」『都市・周縁〈史料と社会〉科研NL』第26号、pp.2-5、令和4年7月  
「(同窓生の図書紹介) 近代大阪の福祉構造と展開」『有恒』24、p.43、令和4年10月  
「水帳が公文書になるとき—帳切・三新法・捨て子—」地方史研究協議会編『日本の歴史を突き詰める—おおさかの歴史（シリーズ・地方史はおもしろい05）』文学通信、pp.102-112、令和4年11月  
「三氏の拙著書評に答える」『部落問題研究』第243号、pp.60-69、令和4年12月
- ・口頭発表  
「拙著『近代大阪の福祉構造と展開—方面委員制度と警察社会事業—』書評へのリプライ」、飯田直樹著『近代大阪の福祉構造と展開—方面委員制度と警察社会事業—』書評座談会（主催：部落問題研究所歴史部会・「奈良科研」）、部落問題研究所、令和4年7月31日  
「大杉由香先生拙著書評へのコメント」、政治経済学・経済史学会福祉社会研究フォーラム、オンライン開催、令和4年9月10日  
「ポーター報告と井ノ元報告へのコメント」、大阪歴史科学協議会10月例会「近代日本の福祉構造と都市社会—飯田直樹『近代大阪の福祉構造と展開』によせて—」、関西学院大学梅田キャンパス、令和4年10月16日  
「地域・地帯・インフラから東京の歴史を考える」、都市史学会主催合評会『みる・よむ・あるく 東京の歴史』、オンライン開催、令和4年11月20日  
「拙著『近代大阪の福祉構造と展開』補遺」、大阪社会福祉史研究会、西成市民館、令和5年1月28日
- ・その他  
NHK Eテレ番組「先人たちの底力 知恵泉」の「米騒動 民衆の怒りと不安 どう向き合う？」出演、令和4年9月6日

第41回社会事業史学会文献賞受賞、令和5年3月29日

## ●阿部文和

### ・専門分野

- (1) 日本建築史
- (2) 建築儀礼と棟札に関する研究

### ・著述

「タイルとおおさか」『陶説』日本陶磁器協会、pp.21-25、令和4年4月

## ●内藤直子

### ・専門分野

- (1) 京金工の研究
- (2) 大月派の研究
- (3) 京後藤家の研究
- (4) 近代大阪の工芸史研究

### ・口頭発表

講演会「明治時代の刀剣会」令和4年9月3日 大倉集古館

フォーラム基調講演「刀装具の世界 —歴史・デザイン・技術—」令和5年2月19日 因伯名刀フォーラム「刀装具の世界—技巧・造形美と因州鐔」鳥取県立博物館

### ・大学での講義

大阪大学「博物館展示論」令和4年度前期

### ・委員等受嘱

文化庁文化審議会専門委員（第四部会）  
文化庁文化財研修事業（伝統工芸・文化財保存技術）企画選定委員  
文化庁美術刀剣刀匠技術保存研修会講師  
文化庁「刀剣の保存に関する懇談会」出席  
京都国立博物館列品等修理請負候補者選定委員  
京都国立博物館買取評価委員  
「令和の名工・名刀展」審査員  
日本美術刀剣保存協会主催「現代刀職展」審査員  
日本刀文化振興協会主催「新作日本刀研磨外装刀職技術展」審査員  
高知県立歴史博物館刀剣修理方針助言指導

## ●村元健一

### ・専門分野

- (1) 歴史学
- (2) 古代の日中交渉
- (3) 難波宮と中国都城との比較研究

### ・著述

『日本古代宮都と中国都城』同成社、令和4年7月  
「日本複都制の起源について—天武・聖武朝を中心に—」ベトナム国会大学ハノイ校人文社会科学大学 東洋学部日本研究科 ファム・レ・フイ編『日本研究論文集 日本の都城と東アジア』世界出版社（ハノイ）、pp.17-32、令和4年8月  
「コロナ禍の中の博物館展示と活動—大阪歴史博物館の場合」神戸大学大学院人文科学研究科地域連携センター『LINK【地域・大学・文化】』14号、pp.192-199、令和4年12月  
「中国南北朝時代の王朝祭祀と都城」西本昌弘編『ア

ジア遊学280 都市と宗教の東アジア史』勉誠社、pp.8-27、令和5年2月

### ・口頭発表

「中国南北朝時代の仏寺と陵寢」佛教史学会大会、龍谷大学、令和4年11月5日

「7世紀における中国都城の朝鮮・日本への影響について」日韓古代文化研究会、西成区民センター、令和5年2月5日

「中国南北朝時代の都城と仏教寺院について」都城制研究会、大阪歴史博物館、令和5年3月18日

## ●島崎未央

### ・専門分野

- (1) 日本近世史
- (2) 都市史、村落史、流通社会史
- (3) 灯明油の生産と流通

### ・著述

『錦絵 滑稽浪花名所を読み解く!？』大阪歴史博物館、令和4年4月

「出油屋仲間」塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社、pp.272-277、令和4年6月

「村中規定連印帳にみる和泉国池田下村の19世紀」大阪市立大学文学研究科叢書12 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』、pp.401-424、令和5年3月

### ・口頭発表

「成安道頓と安井九兵衛 -道頓堀開発の請負人たち-」シニアCITYカレッジ短期講座大阪人物誌Ⅱ、令和4年11月14日

「暁鐘成 -なにわのマルチタレント-」シニアCITYカレッジ短期講座大阪人物誌Ⅱ、令和5年2月13日

「道頓堀と成安道頓・安井九兵衛」阿倍野で学ぶ月曜講座なにわ大阪とことん探求、銀杏生涯学習会、令和5年2月27日

### ・調査活動

学術研究助成基金助成金（若手研究 20K13191）「都市大坂を拠点とする油・種物の流通構造」により、関西を中心に調査や資料の収集を行った

## ●寺井 誠

### ・専門分野

- (1) 考古学
- (2) 日本列島と朝鮮半島の交流史
- (3) タタキメ・当て具痕跡の観察を基にした古墳～平安時代の土器製作技法の研究

### ・著述

『有文当て具痕跡から窺える律令国家成立前後の地方の主体性と対朝鮮半島交流の研究』令和元～4年度（独）日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書（課題番号：19K01106）、令和5年3月

### ・口頭発表

「摂津地域の渡来文化とその故郷」吹田市立博物館、令和4年10月1日

「刀剣から見える古墳時代の国際交流 -『刀剣～古代の武といのり～』展の紹介を兼ねて」歴史街道倶楽部・歴史ものがたりセミナー、令和4年11月2日

「巨大古墳群とその工房～大阪府展示資料の紹介を兼ねて～」大阪歴史博物館特別企画展『刀剣～古代の武といのり～』連続講座、令和4年11月13日  
「刀剣～古代の武といのり～」大阪府教職員互助組合歴史セミナー、令和4年11月19日

●調査活動

科学研究費補助金（基盤研究（C）19K01106「有文当て具痕跡から窺える律令国家成立前後の地方の主体性と対朝鮮半島交流の研究」、基盤研究（C）22K00994「タタキ板およびタタキ技法の復元を基にした異文化受容の多様性の研究」）により各地で資料調査を行った。主たる調査は以下の通り。

愛媛県内のタタキ板・当て具及び須恵器の調査（愛媛県歴史文化博物館、愛媛県埋蔵文化財センター）、令和4年5月24・25日

新潟県滝寺・大貫古窯跡群出土須恵器の調査（新潟県埋蔵文化財センター）、令和4年6月9・10日

鹿児島・宮崎県内の須恵器・土師器の調査（鹿児島県立埋蔵文化財センター・宮崎県埋蔵文化財センター）、令和4年12月21～23日

●中野 朋子

●専門分野

- (1) 美術史・服飾史
- (2) 近代工芸史、近世服飾史
- (3) 近代大阪の陶業史研究、近世後期の京坂における服飾・風俗動向の研究

●著述

「藪明山工房関係文書（一）」、『大阪歴史博物館 研究紀要』第21号、大阪歴史博物館、pp.33-58、令和5年3月

「鴻池家と平瀬露香」、『目の眼』令和4年9月号（552）、令和4年9月

「文明開化のやきもの 印版手：橋本コレクション受贈記念」、『陶説』（835）、日本陶磁協会〔編〕、pp.18-29、令和5年2月

●口頭発表

「印ばん手と大阪「一橋本コレクション受贈記念—文明開化のやきもの 印版手」への誘い」歴史街道推進協議会 歴史ものがたりセミナー、令和4年2月15日

●調査活動

科学研究費補助金（基盤研究（C）19K00209「藪明山の薩摩焼上絵付の技術革新と工房経営に関する研究」）により、大阪、京都で調査を行った。

科学研究費補助金（基盤研究（C）21K01074「『陶業時報』にみる大阪・瀬戸物町における陶磁器商の活動に関する研究」）により、大阪において調査ならびに資料の公開を行った。

●教育活動

大阪藝術大学「服飾史」非常勤講師

●北上 真生

●専門分野

- (1) 日本近世史
- (2) 食文化史
- (3) 日本近世文学

●口頭発表

「志摩軍記」生成の一考察」関西軍記物語研究会第104回例会、同志社大学今出川キャンパス良心館105教室、令和4年7月31日

「九鬼嘉隆・守隆～九鬼水軍と大坂を中心に～」シニアCITYカレッジ、令和4年10月17日

「なにわ菓子物語」OSAKA MUSEUMS 学芸員TALK&THINK（YouTubeにて配信）、令和5年2月25日

「緒方洪庵・郁蔵と森鼻宗次～大阪医学史の偉人たち～」シニアCITYカレッジ、令和5年3月13日

「緒方洪庵・郁蔵と森鼻宗次」銀杏生涯学習会、大阪府立阿倍野学習センター講堂、令和5年3月27日

●調査活動

三田藩家老九鬼家文書における大坂関連資料の調査 令和4年6月～令和5年3月

浄照坊所蔵資料調査 令和4年6月～令和5年3月

大阪の近代医学の確立に貢献した森鼻宗次に関する資料調査 令和4年10月～令和5年3月

大阪の駿河屋所蔵の菓子資料調査 令和5年2月

●岡本 健

●専門分野

- (1) 日本考古学
- (2) 中世・近世考古学
- (3) 戦国・織豊期における造瓦・城郭の研究

●著述

「近世・近畿」『考古学ジャーナル』第768号、ニューサイエンス社、pp.109-110、令和4年5月（岡本健・市川創分担執筆）

「出土瓦からみた戦国期の瓦生産—天王寺瓦工を中心に—」地方史研究協議会編『シリーズ日本史は面白い05 日本の歴史を突き詰める—おおさかの歴史』文学通信、pp.80-91、令和4年12月

●口頭発表

「生駒山地周辺の中世瓦—採集資料を中心に—」、生駒民俗会、生駒ふるさとミュージアム、令和4年6月19日（館藏品・木下密運コレクションを紹介した）

「瓦からみた若江城」、東大阪市立郷土博物館特別展示「戦乱の東大阪」講演会、東大阪市立郷土博物館、令和4年11月12日

「戦国の城を探す—大阪市内の事例から—」、OSAKA MUSEUMS 学芸員TALK&THINK、YouTubeによる配信、令和5年2月26日

●調査活動

尼崎城跡出土瓦の調査 令和4年7月5～7日 尼崎市立歴史博物館

館藏品・木下密運コレクション採集地の現地調査 生駒市竹林寺・輿山墓地・往馬大社現地調査 令和4年5月29日

八尾市玉祖神社・藪光寺・神立墓地・楽音寺墓地・常光寺現地調査 令和4年6月15日

共同研究「中世後期の大阪市域における平地城館跡、環濠集落跡等の基礎的研究」に伴う市内城館跡・環濠集落跡の現地調査

## 受嘱・派遣・視察

### 受嘱

期間	内容	担当者
令和4年4月1日～令和5年3月31日	大阪商工会議所 大阪検定委員	大澤研一
令和5年2月1日～令和5年3月31日	本願寺津村別院（北御堂ミュージアム）	大澤研一

### 派遣依頼対応

日付	派遣先	担当者	日付	派遣先	担当者
R4. 4. 4	(特非) シニア自然大学校	大澤研一	R4.12.15	NPO 法人大阪観光ボランティアガイド協会	大澤研一
R4. 5.16	(特非) シニア自然大学校	谷口正樹	R4.12.22	国立文楽劇場	澤井浩一
R4. 6. 3	大阪府立上方演芸資料館	澤井浩一	R5. 1. 9	銀杏生涯学習会	谷口正樹
R4. 6.13	(特非) シニア自然大学校	大澤研一	R5. 1.23	(特非) シニア自然大学校	澤井浩一
R4. 7.11	(特非) シニア自然大学校	大澤研一	R5. 1.23	銀杏生涯学習会	大澤研一
R4. 7.23	大阪歴史博物館 友の会	澤井浩一	R5. 2.13	(特非) シニア自然大学校	島崎未央
R4. 8. 1	(特非) シニア自然大学校	谷口正樹	R5. 2.13	銀杏生涯学習会	豆谷浩之
R4. 8.18	歴史街道推進協議会	俵 和馬	R5. 2.18	大阪府保険医協会	大澤研一
R4. 9. 5	(特非) シニア自然大学校	大澤研一	R5. 2.18	大阪府保険医協会	李 陽浩
R4.10.17	(特非) シニア自然大学校	北上真生	R5. 2.18	大阪府保険医協会	島崎未央
R4.10.29	大阪府高等学校芸術文化連盟茶道部会	澤井浩一	R5. 2.27	銀杏生涯学習会	島崎未央
R4.11.14	(特非) シニア自然大学校	島崎未央	R5. 3.10	十日会	大澤研一
R4.11.16	(特非) シニア自然大学校	村元健一	R5. 3.10	奈良文化財研究所	加藤俊吾
R4.11.19	大阪府教職員互助組合	寺井 誠	R5. 3.13	(特非) シニア自然大学校	北上真生
R4.11.20	大阪歴史博物館友の会	豆谷浩之	R5. 3.13	銀杏生涯学習会	澤井浩一
R4.11.23	NPO 法人大阪観光ボランティアガイド協会	李 陽浩	R5. 3.27	銀杏生涯学習会	北上真生
R4.12.12	(特非) シニア自然大学校	大澤研一			

### 視察受入

日付	来訪者	人数	目的	対応
R4. 8. 5	宮内庁三の丸尚蔵館	2	普及事業ヒアリング	学芸課・ 企画広報課
R4. 8.19	京都府教育庁文化財保護課（トータルメディア開発研究所）	5	京都府の恭仁宮整備に関する視察、ヒアリング	学芸課
R4.10.21	岐阜市歴史博物館	1	展示改修に関するヒアリング、視察	学芸課
R4.12. 1	九州国立博物館	3	ハンズオンに関するヒアリング	学芸課
R4. 2.23	大韓民国平澤市博物館チーム・博物館研究所	12	展示視察・博物館運営に関するヒアリング	学芸課
R4. 3.13	茨城県立歴史館	2	展示視察・展示更新・ハンズオン	学芸課

## 令和4年度大阪歴史博物館入場者数

月	令和4年度 常設展					令和4年度 特別展					合計	その他 入場
	有料		有料計	無料	常設展計	有料		有料計	無料	特別展計		
	一般	高・大生				一般	高・大生					
4	3,580	434	4,014	2,420	6,434	886	109	995	876	1,871	8,305	1,733
5	5,536	1,013	6,549	4,913	11,462	4,168	396	4,564	5,401	9,965	21,427	3,150
6	3,631	564	4,195	4,250	8,445	966	58	1,024	1,596	2,620	11,065	2,617
7	5,378	618	5,996	3,100	9,096	0	0	0	0	0	9,096	3,452
8	6,851	1,061	7,912	4,013	11,925	0	0	0	0	0	11,925	2,578
9	4,157	699	4,856	3,701	8,557	0	0	0	0	0	8,557	2,315
10	5,520	1,392	6,912	4,851	11,763	0	0	0	0	0	11,763	3,711
11	6,956	911	7,867	8,605	16,472	0	0	0	0	0	16,472	4,189
12	5,516	504	6,020	4,239	10,259	0	0	0	0	0	10,259	2,918
1	5,938	359	6,297	3,907	10,204	0	0	0	0	0	10,204	2,632
2	7,427	695	8,122	4,179	12,301	0	0	0	0	0	12,301	3,259
3	9,774	752	10,526	4,400	14,926	0	0	0	0	0	14,926	3,342
合計	70,264	9,002	79,266	52,578	131,844	6,020	563	6,583	7,873	14,456	146,300	35,896
総合計											182,196	

※その他入場には、2・4階貸室利用者数、4階講堂での各種講演会・イベント参加者数などが含まれる。



## 利用規定

大阪歴史博物館利用規程  
制定 平成31年4月1日

(趣旨)

第1条 大阪歴史博物館（以下「博物館」という。）の利用に関しては、この規程の定めるところによる。

(休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後最初に到来する休日以外の日）

(2) 12月28日から翌年1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、博物館の館長（以下「館長」という。）は、博物館の設備の補修、点検若しくは整備、天災その他やむを得ない事由があるとき又は博物館の効用を発揮するため必要があるときは、事前に又は速やかに理事長の承認を得て同項の規定による休館日を変更し、又は臨時の休館日を定めることができる。

3 館長は、前項の休館を行う場合、事前に又は速やかにその内容を公告しなければならない。

(供用時間)

第3条 博物館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 前条第2項及び第3項の規定は、博物館の供用時間について準用する。この場合において、同条第2項中「前項」とあるのは「第3条第1項」と、「休館日を変更し、又は臨時の休館日を定める」とあるのは「供用時間を変更する」と、同条第3項中「前項」とあるのは「第3条第2項の規定により読み替えられた第2条第2項」と読み替えるものとする。

(使用の許可)

第4条 別表第1に掲げる博物館の施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、館長の許可を受けなければならない。

(使用許可の制限)

第5条 次の各号のいずれかに該当するときは、館長は、施設の使用を許可しない。

(1) 公安又は風俗を害するおそれがあるとき

(2) 建物、設備又は展示品等を損傷するおそれがあるとき

(3) 管理上支障があるとき

(4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の利益になるとき

(5) その他不相当と認めるとき

(使用許可の取消し等)

第6条 次の各号のいずれかに該当するときは、館長は、施設の使用の許可を取り消し、その使用を制限し、若しくは停止し、又は退館を命ずることができる。

(1) 偽りその他不正の手段により第4条の許可（以下「使用許可」という。）を受けたとき

(2) 前条各号に定める事由が発生したとき

(3) この規程に違反し、又はこの規程に基づく指示に従わないとき

(意見の聴取)

第7条 館長は、必要があると認めるときは、第5条第4号に該当する事由の有無について、大阪府警察本部長の意見を聴くよう理事長に求めるものとする。

2 理事長は、前項の規定による求めがあったときは、第5条第4号に該当する事由の有無について、大阪府警察本部長の意見を聴くことができる。

(入館の制限)

第8条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を断り、又は退館させることができる。

(1) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をするおそれがある者

(2) 建物、設備又は展示品を損傷するおそれがある者

(3) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる物品又は動物を携行する者

(4) 管理上必要な指示に従わない者

(5) その他管理上支障があると認めるとき

(特別観覧の許可)

第9条 博物館等資料について特別の観覧をしようとする者は、館長の許可を受けなければならない。

2 特別の観覧に関する手続きについては、別に定める。

(貸出しの許可)

第10条 博物館等資料の貸出しを受けようとする者は、館長の許可を受けなければならない。

2 博物館等資料の貸出しに関する手続きについては、別に定める。

(利用料金)

第11条 博物館を観覧し、又は施設及びその附属設備を使用しようとする者は、館長に利用料金を支払わなければならない。ただし、学校教育法（昭和22年法律第26号）第17条第1項に定める小学校就学の始期に達しない者、小学校（これに準ずるものを含む。）の児童及び中学校（これに準ずるものを含む。）の生徒に係る観覧料については、この限りでない。

2 利用料金の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める金額の範囲内において、館長があらかじめ理事長の承認を得て定める。利用料金の額を変更しようとするときも、同様とする。

(1) 観覧料 1人1回につき別表第2に掲げる金額

(2) 施設使用料 別表第1に掲げる金額（施設の附属設備については、別に定める種別に応じて館長が要項で定める金額）

3 日曜日、土曜日及び休日における施設の使用に係る施設使用料の額は、前項の規定による金額の2割増しの範囲内において、館長があらかじめ理事長の承認を得て定める。当該施設使用料の額を変更しようとするときも、同様とする。

4 施設の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が入場料その他これに類する料金を徴収する場合における施設の使用に係る施設使用料の額は、前2項の規定による金額の5割増しの範囲内において、館長があらかじめ理事長の承認を得て定める。当該施設使用料の額を変更しようとするときも、同様とする。

5 理事長は、前3項の承認（貸出し料の額に係るものを除く。）を行ったときは、速やかに当該承認を行った利用料金の額を公告するものとする。

- 6 館長は、公益上の必要その他特別の事由があると認めるときは、別に定める要項に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。
- 7 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、既納の利用料金の全部又は一部を還付することができる。
- (1) 災害その他使用者の責めに帰すことのできない特別の事由により施設を使用することができなくなったとき
  - (2) 使用者が施設の使用を開始する前に使用許可の取消しを申し出た場合において、館長がその理由を相当と認めて当該使用許可を取り消したとき
  - (3) その他館長が特別の事由があると認めるとき

(特別設備)

第12条 使用者は、館長の許可を受け、特別の設備をすることができる。

2 館長は、使用者に対して必要な設備をすることを命ずることができる。

3 使用者が前第1項、第2項の規定により、特別の設備をしたときは、使用後直ちにこれを撤去して、原状に復さなければならない。

(損害の賠償及び事故の責任)

第13条 博物館を観覧する者又は施設の使用の許可を受けた者が建物、設備又は博物館等資料を損傷し、又は亡失したときは、理事長の定めるところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

2 使用者は、使用に関して生じた一切の事故につき、その責めを負うものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程の施行期日は、平成31年4月1日とする。
- 2 本規定の施行前に納付された利用料金については、なお従前の例による。

別表第1(第4条、第11条関係)

区分	施設使用料
講 堂	1室1日につき 36,000円
第1研修室	1室1日につき 15,200円
第2研修室	1室1日につき 8,200円
第1会議室	1室1日につき 7,500円
第2会議室	1室1日につき 7,000円
第3会議室	1室1日につき 7,300円
特別展示室	1室1日につき 96,800円

別表第2(第11条関係)

区分		観覧料	団体(20人以上)観覧料
常 設 展示室	高等学校、高等専門学校、大学及びこれらに準ずる教育施設に在学する者	400円	360円
	その他の者	600円	540円
特 別 展示室	高等学校、高等専門学校、大学及びこれらに準ずる教育施設に在学する者	1,600円	1,440円
	その他の者	2,400円	2,160円

## 運営組織

大阪歴史博物館は、大阪市が設立する地方独立行政法人大阪市博物館機構が設置し、管理運営を行う。

## 組織

館 長	大澤研一			
総務課	課 長	佐藤周平		
	係 長	羽室有加里		
	主 任	桜井香栄		
	係 員	川端優子	加藤晶子	
		西村安希子	山本幸恵	
尾崎雄二		小川泰伸		
企画広報課	課 長	船越幹央		
	企画広報係	企画広報係長兼 学芸課担当係長 李 陽浩 主任学芸員 岩佐伸一 係 員 俵 和馬 柴田晃子 情報資料係 係 長 加藤俊吾 係 員 安岡早穂 谷口正樹 小林佳美 宮下愛子		
研究主幹	豆谷浩之			
学芸課	課 長	澤井浩一		
	課 長 代 理	松本百合子		
	学芸第1係	係 長	松本百合子(兼務)	
		主任学芸員	杉本厚典	
		係 員	飯田直樹	
	学芸第2係	係 長	阿部文和	
		主任学芸員兼 学芸課担当係長	内藤直子	
		係 員	村元健一	
	学芸第3係	係 長	島崎未央	
		主任学芸員	寺井 誠	
係 員		中野朋子 北上真生 岡本 健		

## 人事

新規採用(令和4年4月1日)  
学芸課 係 員 北上真生

再雇用(令和4年4月1日)  
総務課 係 員 山本幸恵

転 入(令和4年4月1日)  
総務課 主 任 桜井香栄  
大阪市立美術館総務課より

転 出(令和4年4月1日)  
総務課 係 員 樋口祥子  
大阪市立東洋陶磁美術館学芸課へ

退 職(令和5年3月31日)  
企画広報課 課 長 船越幹央  
学芸課 課 長 澤井浩一  
学芸課 研究主幹 豆谷浩之  
総務課 係 員 加藤晶子  
総務課 係 員 尾崎雄二

大阪歴史博物館年報 令和4年度

令和5年10月20日発行©

編集・発行 大阪歴史博物館  
〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32

印刷・製本 株式会社中島弘文堂印刷所  
〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目6番8号

ANNUAL REPORT  
of  
Osaka Museum of History  
Oct. 2023